

---

平成 30 年度

県政世論調査  
(概要版)

香川県

---

---

---

---

---

---

---

## 目次

<b>第1章 調査の概要</b> .....	<b>1</b>
1. 調査目的 .....	1
2. 調査項目 .....	1
3. 調査設計 .....	1
4. 回収状況 .....	1
5. サンプル設計 .....	1
6. 集計・分析方法 .....	3
7. 報告書の見方 .....	3
<b>第2章 調査回答者の属性</b> .....	<b>5</b>
1. 性別 .....	5
2. 年齢 .....	6
3. 職業 .....	7
4. 圏域 .....	8
5. 居住年数 .....	9
<b>第3章 調査の集計結果</b> .....	<b>11</b>
1. 防災・減災対策について .....	11
2. 地産地消について .....	26
3. 動物の愛護と管理について .....	37
4. 骨髄移植について .....	52
5. 県政の重要度と満足度について .....	68

---

---

---

---

---

---

---

---

## <第1章 調査の概要>

---

---

---

---

---

---

## 第1章 調査の概要

### 1. 調査目的

県政の諸問題について、県民の意見や要望等を把握し、今後の施策立案に際しての基礎資料とすることを目的とする。

### 2. 調査項目

- (1) 防災・減災対策について
- (2) 地産地消について
- (3) 動物の愛護と管理について
- (4) 骨髄移植について
- (5) 県政の重要度と満足度について

### 3. 調査設計

- (1) 調査地域 香川県全域
- (2) 調査対象 満18歳以上の県民
- (3) 標本数 3,000
- (4) 抽出方法 層化二段無作為抽出法
- (5) 調査方法 郵送法
- (6) 調査時期 平成30年5月10日～6月1日

### 4. 回収状況

- (1) 標本数 3,000
- (2) 有効回収数 1,607 (53.6%)

### 5. サンプル設計

- (1) 母集団 香川県内の市町に居住する満18歳以上の県民
- (2) 標本数 3,000
- (3) 地点数 150地点 (市部：126地点、町部：24地点)
- (4) 抽出方法 層化二段無作為抽出法

【 層 化 】

県内の市町（8市9町）を次のように5圏域に分類した。

圏域名	構成市町
1 高松圏域	高松市・三木町・直島町・綾川町
2 東讃圏域	さぬき市・東かがわ市
3 小豆圏域	土庄町・小豆島町
4 中讃圏域	丸亀市・坂出市・善通寺市・宇多津町・琴平町・多度津町・まんのう町
5 西讃圏域	観音寺市・三豊市

さらに、各圏域内を市町の規模によって、

①高松市 ②高松市以外の市 ③町 に分類して、それぞれを層とした。

【 標本数の配分 】

各層における母集団数（平成30年3月1日現在の選挙人名簿登録者数）の大きさにより、3,000の標本数を比例配分した。

【 抽 出 】

- ①第1次抽出単位となる調査地点として、平成30年3月1日現在の投票区を使用した。
- ②調査地点数については、1調査地点あたりの標本数が20前後になるように、各層に割り当てられた標本数から算出して決定した。
- ③調査地点の抽出は、調査地点数が2地点以上割り当てられた層については、

$$\left( \frac{\text{層における選挙人名簿登録者数の合計}}{\text{層で算出された調査地点数}} = \text{抽出間隔} \right)$$

を算出し、等間隔抽出法により該当番目が含まれる投票区を抽出した。

- ④抽出に際しての各層内における市町の配列順序は、総務省設定の市町村コードに従った。
- ⑤調査地点における対象者の抽出は、調査地点（投票区）内から選挙人名簿によって等間隔抽出法で抽出した。
- ⑥以上の結果、圏域別・市町規模別における標本数・調査地点数は次のとおりである。

【 圏域別・市町規模別 標本数および調査地点数 】 上段:母集団数 下段:標本数、()内は調査地点数

圏域 \ 市町別	高松市	高松市以外の市	町	計
1 高松圏域	354,304 1,284 (64)		45,884 171 (9)	400,188 1,455 (73)
2 東讃圏域		68,884 254 (13)		68,884 254 (13)
3 小豆圏域			24,650 93 (4)	24,650 93 (4)
4 中讃圏域		163,924 598 (30)	58,368 210 (11)	222,292 808 (41)
5 西讃圏域		104,563 390 (19)		104,563 390 (19)



## 6. 集計・分析方法

集計・分析にあたり、回答者の年齢階層の偏りを補正し、年齢別の集計ウェイトを乗じて標本数を規正（ウェイトバック集計）した。ウェイトバック集計した値は、この規正した標本数を基に回答者の割合（百分比%）等を算出している。なお、規正した標本数は、乗算結果の小数点以下第1位を四捨五入しているため、総数と内訳の計が一致しない場合がある。

年齢区分	推定母集団		有効回答数		年齢ウェイト (A/B)
	実数(人)	構成比(%) A	実数(人)	構成比(%) B	
18～19歳	18,930	2.4	15	1.0	2.467(2.4)
20～29歳	76,429	9.5	83	5.3	1.800(1.792)
30～39歳	103,485	12.9	161	10.3	1.256(1.252)
40～49歳	134,231	16.8	236	15.1	1.112(1.112)
50～59歳	111,526	13.9	263	16.8	0.829(0.827)
60～69歳	144,859	18.1	392	25.0	0.722(0.724)
70歳以上	211,318	26.4	416	26.6	0.993(0.992)
合計	800,778	100.0	1,566	100.0	-

※1) 推定母集団は平成29年10月時点

※2) 構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しない場合がある。

※3) 年齢ウェイトは小数点以下を含んだ各構成比から算出しており、小数点以下第2位を四捨五入した各構成比から算出したカッコ内の数値とは一致しない。

## 7. 報告書の見方

- (1) 回答の比率は、その設問の回答者数を基数として算出し、少数第2位を四捨五入した。  
このために、百分比の合計が100.0%にならないことがある。
- (2) 複数回答の設問の場合、回答は選択肢の有効回答数に対し、それぞれの割合を示している。  
このために、その比率の合計が100.0%を超える場合がある。
- (3) 図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合がある。また、設問で回答がなかった選択肢について、図中の比率表記(0.0%)を省略している。
- (4) 本文、図表、集計表に用いた符号等の意味は次のとおりである。  
N：質問に対する回答者数で、100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数



---

## <第2章 調査回答者の属性>

---

---

---

---

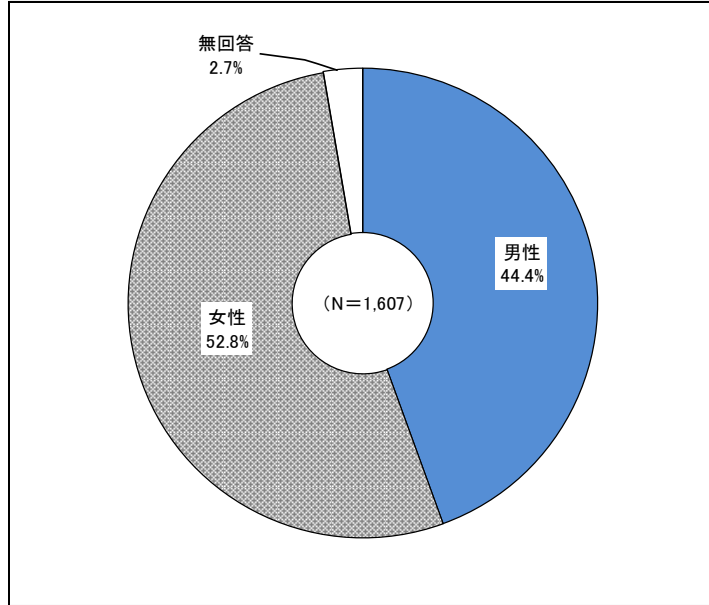
---

## 第2章 調査回答者の属性

### 1. 性別

性別について、「男性」(44.4%)、「女性」(52.8%)となっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「男性」(45.0%)、「女性」(52.3%)となっている。



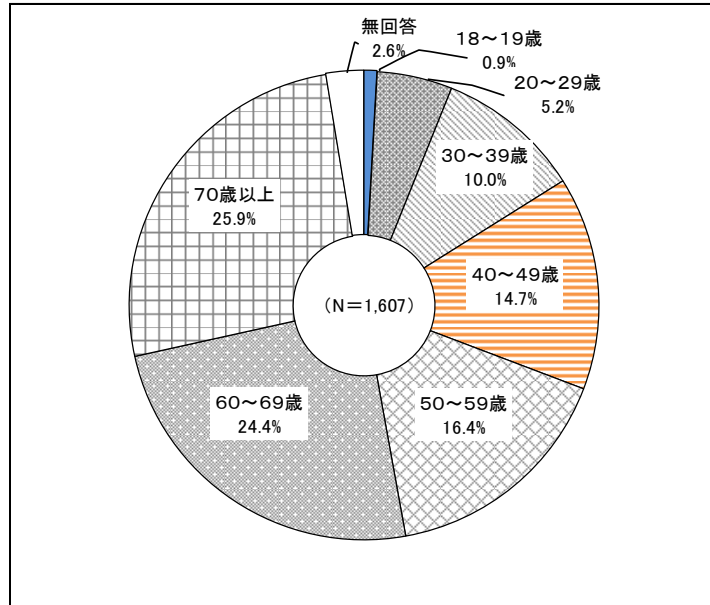
項目	回答数 (人)	構成比 (%)
男性	714 (723)	44.4 (45.0)
女性	849 (840)	52.8 (52.3)
(無回答)	44 (44)	2.7 (2.7)
計	1,607 (1,607)	100.0

※ () 内の数字はウェイトバックした値

## 2. 年齢

年齢について、「70歳以上」(25.9%)が最も高く、次いで「60～69歳」(24.4%)、「50～59歳」(16.4%)、「40～49歳」(14.7%)などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「70歳以上」(25.7%)が最も高く、次いで「60～69歳」(17.6%)、「40～49歳」(16.3%)、「50～59歳」(13.6%)などとなっている。



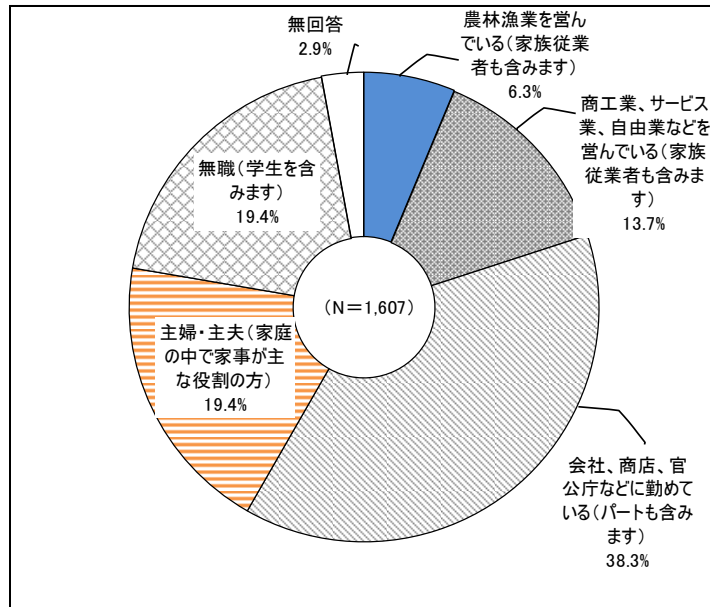
項目	回答数 (人)	構成比 (%)
18～19歳	15 ( 37)	0.9 ( 2.3)
20～29歳	83 (149)	5.2 ( 9.3)
30～39歳	161 (202)	10.0 (12.6)
40～49歳	236 (263)	14.7 (16.3)
50～59歳	263 (218)	16.4 (13.6)
60～69歳	392 (283)	24.4 (17.6)
70歳以上	416 (413)	25.9 (25.7)
(無回答)	41 ( 41)	2.6 ( 2.6)
計	1,607 (1,606)	100.0

※ ( ) 内の数字はウェイトバックした値

### 3. 職業

職業について、「会社、商店、官公庁などに勤めている」(38.3%)が最も高く、次いで「主婦・主夫」、「無職」(ともに19.4%)、「商工業、サービス業、自由業などを営んでいる」(13.7%)、「農林漁業」(6.3%)となっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「会社、商店、官公庁などに勤めている」(39.8%)が最も高く、次いで「無職」(20.3%)、「主婦・主夫」(17.5%)、「商工業、サービス業、自由業などを営んでいる」(13.7%)、「農林漁業」(5.6%)となっている。



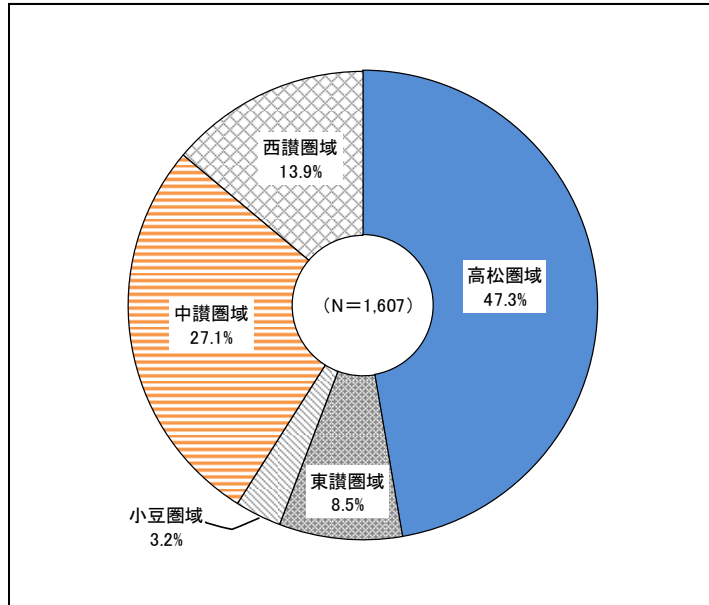
項目	回答数 (人)	構成比 (%)
農林漁業	101 ( 91)	6.3 ( 5.6)
商工業、サービス業、自由業など	220 (221)	13.7 (13.7)
会社、商店、官公庁などに勤務	616 (640)	38.3 (39.8)
主婦・主夫	312 (282)	19.4 (17.5)
無職	311 (326)	19.4 (20.3)
(無回答)	47 ( 47)	2.9 ( 2.9)
計	1,607 (1,607)	100.0

※ ( ) 内の数字はウェイトバックした値

#### 4. 圏域

圏域について、「高松圏域」(47.3%)が最も高く、次いで「中讃圏域」(27.1%)、「西讃圏域」(13.9%)、「東讃圏域」(8.5%)、「小豆圏域」(3.2%)となっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「高松圏域」(47.9%)が最も高く、次いで「中讃圏域」(27.3%)、「西讃圏域」(13.4%)、「東讃圏域」(8.3%)、「小豆圏域」(3.0%)となっている。



項目	回答数 (人)	構成比 (%)
高松圏域	760 (770)	47.3 (47.9)
東讃圏域	137 (133)	8.5 (8.3)
小豆圏域	52 (49)	3.2 (3.0)
中讃圏域	435 (439)	27.1 (27.3)
西讃圏域	223 (216)	13.9 (13.4)
(無回答)	0 (0)	0.0 (0.0)
計	1,607 (1,607)	100.0

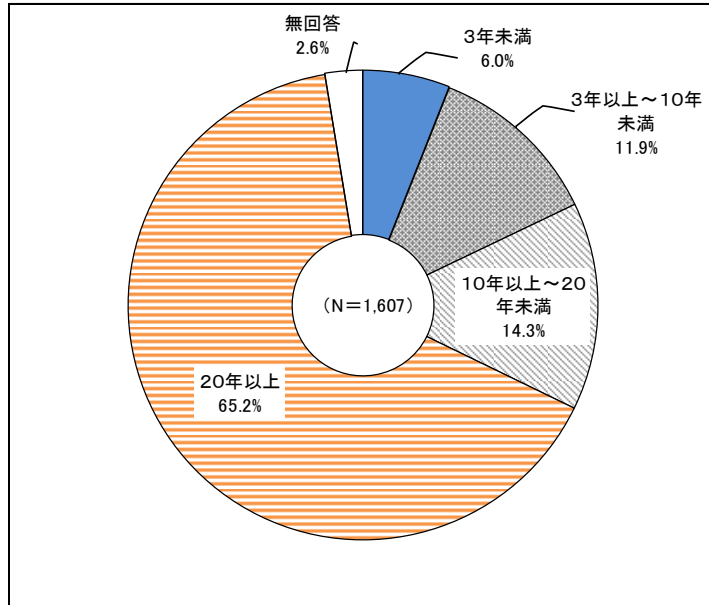
※ ( ) 内の数字はウェイトバックした値



## 5. 居住年数

居住年数について、「20年以上」(65.2%)が最も高く、次いで「10年以上～20年未満」(14.3%)、「3年以上～10年未満」(11.9%)、「3年未満」(6.0%)となっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「20年以上」(60.5%)が最も高く、次いで「10年以上～20年未満」(15.8%)、「3年以上～10年未満」(13.7%)、「3年未満」(7.3%)となっている。



項目	回答数 (人)	構成比 (%)
3年未満	96 (117)	6.0 (7.3)
3年以上～10年未満	192 (221)	11.9 (13.7)
10年以上～20年未満	229 (255)	14.3 (15.8)
20年以上	1,048 (972)	65.2 (60.5)
(無回答)	42 (42)	2.6 (2.6)
計	1,607 (1,607)	100.0

※ ( ) 内の数字はウェイトバックした値



---

## <第3章 調査の集計結果>

---

---

---

---

---

## 第3章 調査の集計結果

### 1. 防災・減災対策について

#### (1) 防災・減災対策の重要度について

問1 あなたは、防災・減災対策が重要だと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

※ ( ) 内の割合はウェイトバックした値

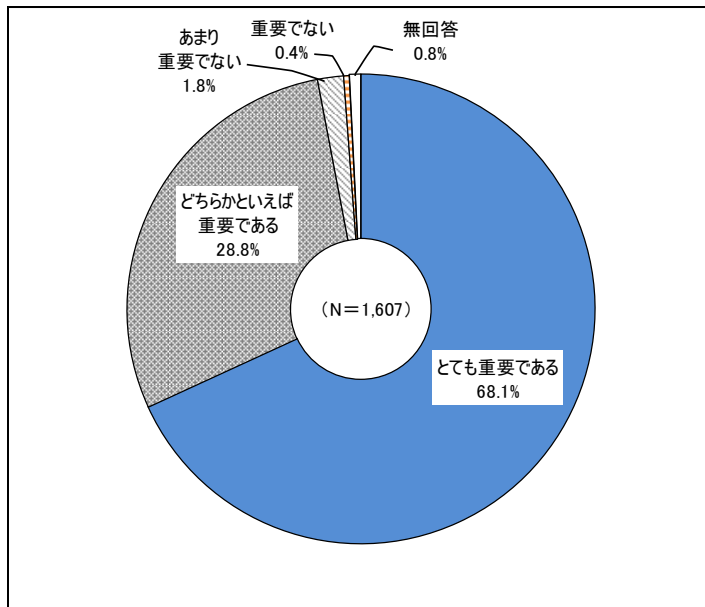
【回答者数=1,607】

1 とても重要である	68.1% (68.6%)
2 どちらかといえば重要である	28.8% (28.4%)
3 あまり重要でない	1.8% ( 1.8%)
4 重要でない	0.4% ( 0.4%)
(無回答)	0.8% ( 0.9%)

防災・減災対策の重要度について、「とても重要である」(68.1%)が最も高く、次いで「どちらかといえば重要である」(28.8%)、「あまり重要でない」(1.8%)、「重要でない」(0.4%)となっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「とても重要である」(68.6%)が最も高く、次いで「どちらかといえば重要である」(28.4%)、「あまり重要でない」(1.8%)、「重要でない」(0.4%)となっている。

図表 1-(1)-1 防災・減災対策の重要度について



(2) 防災・減災対策が重要だと思理由について

【問1で「1」または「2」と答えた方にお聞きします】

付問1 防災・減災対策が重要だと思理由は何ですか。次の中から3つまで選んでください。

※ ( ) 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=1,558】※回答数の多い順に並び替え

1	自分や家族の生命・財産に直接関わる問題である	86.5% (86.4%)
2	日頃から災害に対しての備えをしておかないと、いざという時に困る	75.5% (75.6%)
3	近年、大規模災害が多発している	74.3% (73.6%)
4	防災教育の場などで災害対策の重要性を教えられたことがある	9.8% (10.0%)
5	過去に災害を体験したことがある	7.8% ( 7.2%)
6	自分の職業と密接に関係している	5.8% ( 6.2%)
7	その他	1.7% ( 1.8%)
	(無回答)	0.1% ( 0.1%)

防災・減災対策が重要だと思理由について、「自分や家族の生命・財産に直接関わる問題である」(86.5%)が最も高く、次いで「日頃から災害に対しての備えをしておかないと、いざという時に困る」(75.5%)、「近年、大規模災害が多発している」(74.3%)、「防災教育の場などで災害対策の重要性を教えられたことがある」(9.8%)などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「自分や家族の生命・財産に直接関わる問題である」(86.4%)が最も高く、次いで「日頃から災害に対しての備えをしておかないと、いざという時に困る」(75.6%)、「近年、大規模災害が多発している」(73.6%)、「防災教育の場などで災害対策の重要性を教えられたことがある」(10.0%)などとなっている。

図表 1-(2)-1 防災・減災対策が重要だと思理由について

	割合 (%)	回答数
全体	100.0	1,558 人
(1) 自分や家族の生命・財産に直接関わる問題である	86.5	1,347 人
(2) 日頃から災害に対しての備えをしておかないと、いざという時に困る	75.5	1,176 人
(3) 近年、大規模災害が多発している	74.3	1,158 人
(4) 防災教育の場などで災害対策の重要性を教えられたことがある	9.8	153 人
(5) 過去に災害を体験したことがある	7.8	121 人
(6) 自分の職業と密接に関係している	5.8	90 人
(7) その他	1.7	27 人
無回答	0.1	2 人

グラフ単位: (%)

(3)防災・減災対策が重要でないと思う理由について

【問1で「3」または「4」と答えた方にお聞きします】

付問2 防災・減災対策が重要でないと思う理由は何ですか。次の中から3つまで選んでください。

※ ( ) 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=36(35)】※回答数の多い順に並び替え

1	災害はいつどこで発生するかわからないので、対策は不可能だと思う	61.1% (63.9%)
2	防災・減災対策よりも優先度が高い課題が他にある	44.4% (43.6%)
3	香川県では大規模災害が起こることはないと思う	36.1% (33.6%)
4	事前の備えをしていなくても、自分や家族は大丈夫という自信がある	16.7% (19.0%)
5	自分や家族は、災害の危険箇所に住んだり、行ったりしない	11.1% (11.4%)
6	自分の職業との関わりがあまりない	8.3% ( 7.0%)
7	その他	5.6% ( 6.5%)
	(無回答)	0.0% ( 0.0%)

防災・減災対策が重要でないと思う理由について、「災害はいつどこで発生するかわからないので、対策は不可能だと思う」(61.1%)が最も高く、次いで「防災・減災対策よりも優先度が高い課題が他にある」(44.4%)、「香川県では大規模災害が起こることはないと思う」(36.1%)、「事前の備えをしていなくても、自分や家族は大丈夫という自信がある」(16.7%)などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「災害はいつどこで発生するかわからないので、対策は不可能だと思う」(63.9%)が最も高く、次いで「防災・減災対策よりも優先度が高い課題が他にある」(43.6%)、「香川県では大規模災害が起こることはないと思う」(33.6%)、「事前の備えをしていなくても、自分や家族は大丈夫という自信がある」(19.0%)などとなっている。

図表 1-(3)-1 防災・減災対策が重要でないと思う理由について

		回答数
全体	100.0	36 人
(1) 災害はいつどこで発生するかわからないので、対策は不可能だと思う	61.1	22 人
(2) 防災・減災対策よりも優先度が高い課題が他にある	44.4	16 人
(3) 香川県では大規模災害が起こることはないと思う	36.1	13 人
(4) 事前の備えをしていなくても、自分や家族は大丈夫という自信がある	16.7	6 人
(5) 自分や家族は、災害の危険箇所に住んだり、行ったりしない	11.1	4 人
(6) 自分の職業との関わりがあまりない	8.3	3 人
(7) その他	5.6	2 人
無回答	0.0	- 人

グラフ単位：(%)

(4)防災・減災対策の満足度について

問2 あなたは、防災・減災対策について満足されていますか。次の中から1つだけ選んでください。

※ ( ) 内の割合はウェイトバックした値

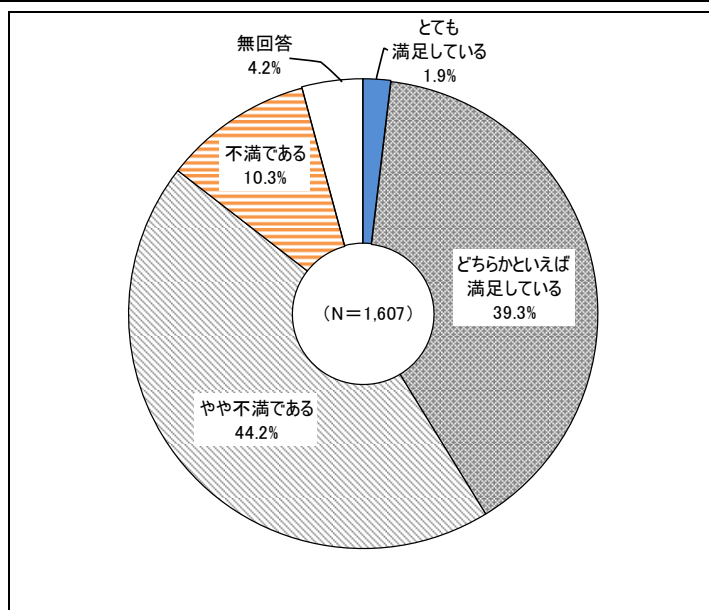
【回答者数=1,607】

1	とても満足している	1.9% ( 2.0%)
2	どちらかといえば満足している	39.3% (38.5%)
3	やや不満である	44.2% (45.2%)
4	不満である	10.3% (10.4%)
	(無回答)	4.2% ( 4.0%)

防災・減災対策の満足度について、「やや不満である」(44.2%)が最も高く、次いで「どちらかといえば満足している」(39.3%)、「不満である」(10.3%)、「とても満足している」(1.9%)となっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「やや不満である」(45.2%)が最も高く、次いで「どちらかといえば満足している」(38.5%)、「不満である」(10.4%)、「とても満足している」(2.0%)となっている。

図表 1-(4)-1 防災・減災対策の満足度について





**(5)防災・減災対策のうち、満足している取り組みについて**

【問2で「1」または「2」と答えた方にお聞きします】

付問3 あなたが満足されているのは、防災・減災対策のうち、どのような取り組みでしょうか。  
次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=663(651)】

1 自分や家族で取り組む対策（自分の生命・財産を自分で守るための取り組み）	52.6% (52.5%)
2 地域や会社などで取り組む対策（近所や職域で共に助け合うための取り組み）	50.4% (49.4%)
3 県や市町で取り組んでいる防災・減災対策	47.7% (46.5%)
4 その他	1.5% ( 1.3%)
(無回答)	0.8% ( 0.6%)

防災・減災対策のうち、満足している取り組みについて、「自分や家族で取り組む対策（自分の生命・財産を自分で守るための取り組み）」(52.6%)が最も高く、次いで「地域や会社などで取り組む対策（近所や職域で共に助け合うための取り組み）」(50.4%)、「県や市町で取り組んでいる防災・減災対策」(47.7%)、「その他」(1.5%)となっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「自分や家族で取り組む対策（自分の生命・財産を自分で守るための取り組み）」(52.5%)が最も高く、次いで「地域や会社などで取り組む対策（近所や職域で共に助け合うための取り組み）」(49.4%)、「県や市町で取り組んでいる防災・減災対策」(46.5%)、「その他」(1.3%)となっている。

**図表 1-(5)-1 防災・減災対策のうち、満足している取り組みについて**

		回答数
全体	100.0	663 人
(1) 自分や家族で取り組む対策(自分の生命・財産を自分で守るための取り組み)	52.6	349 人
(2) 地域や会社などで取り組む対策(近所や職域で共に助け合うための取り組み)	50.4	334 人
(3) 県や市町で取り組んでいる防災・減災対策	47.7	316 人
(4) その他	1.5	10 人
無回答	0.8	5 人

グラフ単位：(%)

(6) 不満に思っている防災・減災対策について

【問2で「3」または「4」と答えた方にお聞きします】

付問4 あなたが不満に思っているのは、防災・減災対策のうち、どのような取り組みでしょうか。次の中からあてはまるものをすべて選び、それに伴う付問5、6、7についても、ご回答ください。

※ ( ) 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=876(893)】 ※回答数の多い順に並び替え

1	自分や家族で取り組む対策（自分の生命・財産を自分で守るための取り組み）	59.5% (60.1%)
2	県や市町で取り組んでいる防災・減災対策	46.9% (45.4%)
3	地域や会社などで取り組む対策（近所や職域で共に助け合うための取り組み）	44.9% (44.6%)
4	その他	3.7% ( 3.8%)
	(無回答)	5.5% ( 5.4%)

不満に思っている防災・減災対策について、「自分や家族で取り組む対策（自分の生命・財産を自分で守るための取り組み）」(59.5%)が最も高く、次いで「県や市町で取り組んでいる防災・減災対策」(46.9%)、「地域や会社などで取り組む対策（近所や職域で共に助け合うための取り組み）」(44.9%)、「その他」(3.7%)となっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「自分や家族で取り組む対策（自分の生命・財産を自分で守るための取り組み）」(60.1%)が最も高く、次いで「県や市町で取り組んでいる防災・減災対策」(45.4%)、「地域や会社などで取り組む対策（近所や職域で共に助け合うための取り組み）」(44.6%)、「その他」(3.8%)となっている。

図表 1-(6)-1 不満に思っている防災・減災対策について

		回答数
全体	100.0	876 人
(1) 自分や家族で取り組む対策(自分の生命・財産を自分で守るための取り組み)	59.5	521 人
(2) 県や市町で取り組んでいる防災・減災対策	46.9	411 人
(3) 地域や会社などで取り組む対策(近所や職域で共に助け合うための取り組み)	44.9	393 人
(4) その他	3.7	32 人
無回答	5.5	48 人

グラフ単位:(%)

(7) 自分や家族で取り組んでいる防災・減災対策について

【付問4で「1 自分や家族で取り組む対策」と答えた方にお聞きします】

付問5 あなたは、防災・減災に関してどのような取り組みをされていますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

※ ( ) 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=521(537)】※回答数の多い順に並び替え

1	携帯ラジオや懐中電灯を準備している	59.3% (56.4%)
2	避難場所を決めている	31.3% (30.7%)
3	食料や飲料水を備蓄している	28.0% (27.4%)
4	貴重品などをすぐ持ち出せるようにしている	15.0% (14.5%)
5	消火器や消火用のバケツを準備している	13.4% (12.0%)
6	自分の家の耐震性を確保している	13.2% (13.2%)
7	家族や親類などと、非常時の連絡方法を決めている	11.7% (12.2%)
8	家具や大型電気製品などを固定し、転倒を防止している	11.7% (11.3%)
9	特に何もしていない	23.2% (24.5%)
10	その他	1.2% ( 1.3%)
	(無回答)	0.6% ( 0.5%)

自分や家族で取り組んでいる防災・減災対策について、「携帯ラジオや懐中電灯を準備している」(59.3%)が最も高く、次いで「避難場所を決めている」(31.3%)、「食料や飲料水を備蓄している」(28.0%)、「特に何もしていない」(23.2%)などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「携帯ラジオや懐中電灯を準備している」(56.4%)が最も高く、次いで「避難場所を決めている」(30.7%)、「食料や飲料水を備蓄している」(27.4%)、「特に何もしていない」(24.5%)などとなっている。

図表 1-(7)-1 自分や家族で取り組んでいる防災・減災対策について

		回答数
全体	100.0	521 人
(1) 携帯ラジオや懐中電灯を準備している	59.3	309 人
(2) 避難場所を決めている	31.3	163 人
(3) 食料や飲料水を備蓄している	28.0	146 人
(4) 貴重品などをすぐ持ち出せるようにしている	15.0	78 人
(5) 消火器や消火用のバケツを準備している	13.4	70 人
(6) 自分の家の耐震性を確保している	13.2	69 人
(7) 家族や親類などと、非常時の連絡方法を 決めている	11.7	61 人
(8) 家具や大型電気製品などを固定し、 転倒を防止している	11.7	61 人
(9) 特に何もしていない	23.2	121 人
(10) その他	1.2	6 人
無回答	0.6	3 人

グラフ単位：(%)

**(8) 地域や会社などで取り組んでいる防災・減災対策について**

【付問4で「2 地域や会社などで取り組む対策」と答えた方にお聞きします】

付問6 あなたは、防災・減災に関してどのような取り組みをされていますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

※ ( ) 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=393(398)】 ※回答数の多い順に並び替え

1 勤めている会社や通っている学校などで、災害時のための訓練を行っている	24.7% (26.0%)
2 隣近所で、高齢者や身体が不自由な方など災害時に配慮が必要な人を把握している	20.1% (17.6%)
3 新聞やニュースなどで防災に関する情報を収集し、隣近所や職場などで共有している	9.7% ( 8.9%)
4 消防団や自主防災組織の活動に参加している	9.4% ( 8.3%)
5 自分の居住する地域やマンションなどで、災害時に備えた取り決めや会議などを行っている	7.4% ( 6.5%)
6 防災士の資格を取得している	0.8% ( 0.8%)
7 特に何もしていない	47.6% (49.2%)
8 その他	1.5% ( 1.8%)
(無回答)	2.8% ( 2.4%)

地域や会社などで取り組んでいる防災・減災対策について、「特に何もしていない」(47.6%)が最も高く、次いで「勤めている会社や通っている学校などで、災害時のための訓練を行っている」(24.7%)、「隣近所で、高齢者や身体が不自由な方など災害時に配慮が必要な人を把握している」(20.1%)、「新聞やニュースなどで防災に関する情報を収集し、隣近所や職場などで共有している」(9.7%)などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「特に何もしていない」(49.2%)が最も高く、次いで「勤めている会社や通っている学校などで、災害時のための訓練を行っている」(26.0%)、「隣近所で、高齢者や身体が不自由な方など災害時に配慮が必要な人を把握している」(17.6%)、「新聞やニュースなどで防災に関する情報を収集し、隣近所や職場などで共有している」(8.9%)などとなっている。

図表 1-(8)-1 地域や会社などで取り組んでいる防災・減災対策について

		回答数
全体	100.0	393 人
(1) 勤めている会社や通っている学校などで、災害時のための訓練を行っている	24.7	97 人
(2) 隣近所で、高齢者や身体が不自由な方など災害時に配慮が必要な人を把握している	20.1	79 人
(3) 新聞やニュースなどで防災に関する情報を収集し、隣近所や職場などで共有している	9.7	38 人
(4) 消防団や自主防災組織の活動に参加している	9.4	37 人
(5) 自分の居住する地域やマンションなどで、災害時に備えた取り決めや会議などを行っている	7.4	29 人
(6) 防災士の資格を取得している	0.8	3 人
(7) 特に何もしていない	47.6	187 人
(8) その他	1.5	6 人
無回答	2.8	11 人

グラフ単位：(%)

**(9) 県や市町で取り組んでいる防災・減災対策について**

【付問4で「3 県や市町で取り組んでいる防災・減災対策」と答えた方にお聞きします】

付問7 あなたは、現在、県や市町で取り組んでいる防災・減災対策のうち、どのような点について不満に思っていますか。次の中から3つまで選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=411(405)】 ※回答数の多い順に並び替え

1	県や市町がどんな防災・減災対策に取り組んでいるのかを知らない	47.2% (48.7%)
2	避難所の開設状況や避難勧告の発令など、災害時の情報提供が十分でない	32.4% (31.3%)
3	命を守るためのスキルやノウハウが身に付くような実践的な防災教育が十分でない	26.0% (25.4%)
4	災害時の住民に対する情報の伝達手段が十分でない	22.4% (21.2%)
5	避難所の指定や、ハザードマップの作成など、事前の準備が十分でない	21.4% (20.9%)
6	保存食や防災グッズなどの住民に対する配布が十分でない	19.5% (20.0%)
7	堤防のかさ上げなどのハード整備が十分でない	19.2% (18.7%)
8	住宅の耐震化や家具の転倒防止の呼びかけなどの普及啓発や支援が十分でない	16.3% (16.9%)
9	避難所における食料、飲料水、医薬品などの備蓄が十分でない	15.1% (15.6%)
10	県や市町がいくら防災・減災対策に取り組んでも、絶対に安全であるとは言いきれない	13.4% (13.2%)
11	地域の自主防災組織や消防団の活動に対する支援が十分でない	11.9% (11.5%)
12	その他	2.9% ( 2.7%)
	(無回答)	3.4% ( 3.5%)

県や市町で取り組んでいる防災・減災対策について、「県や市町がどんな防災・減災対策に取り組んでいるのかを知らない」(47.2%)が最も高く、次いで「避難所の開設状況や避難勧告の発令など、災害時の情報提供が十分でない」(32.4%)、「命を守るためのスキルやノウハウが身に付くような実践的な防災教育が十分でない」(26.0%)、「災害時の住民に対する情報の伝達手段が十分でない」(22.4%)などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「県や市町がどんな防災・減災対策に取り組んでいるのかを知らない」(48.7%)が最も高く、次いで「避難所の開設状況や避難勧告の発令など、災害時の情報提供が十分でない」(31.3%)、「命を守るためのスキルやノウハウが身に付くような実践的な防災教育が十分でない」(25.4%)、「災害時の住民に対する情報の伝達手段が十分でない」(21.2%)などとなっている。

図表 1-(9)-1 県や市町で取り組んでいる防災・減災対策について

		回答数
全体	100.0	411 人
(1) 県や市町がどんな防災・減災対策に取り組んでいるのかを知らない	47.2	194 人
(2) 避難所の開設状況や避難勧告の発令など、災害時の情報提供が十分でない	32.4	133 人
(3) 命を守るためのスキルやノウハウが身に付くような実践的な防災教育が十分でない	26.0	107 人
(4) 災害時の住民に対する情報の伝達手段が十分でない	22.4	92 人
(5) 避難所の指定や、ハザードマップの作成など、事前の準備が十分でない	21.4	88 人
(6) 保存食や防災グッズなどの住民に対する配布が十分でない	19.5	80 人
(7) 堤防のかさ上げなどのハード整備が十分でない	19.2	79 人
(8) 住宅の耐震化や家具の転倒防止の呼びかけなどの普及啓発や支援が十分でない	16.3	67 人
(9) 避難所における食料、飲料水、医薬品などの備蓄が十分でない	15.1	62 人
(10) 県や市町がいくら防災・減災対策に取り組んでも、絶対に安全であるとは言いきれない	13.4	55 人
(11) 地域の自主防災組織や消防団の活動に対する支援が十分でない	11.9	49 人
(12) その他	2.9	12 人
無回答	3.4	14 人

グラフ単位：(%)



## (10)自由意見について

【付問7で答えた方にお聞きします】

付問8 回答された選択肢について、具体的な意見があれば記入をお願いします。

164件中意見を抜粋

- 「1. 県や市町がどんな防災・減災対策に取り組んでいるのかを知らない」
- ・ダム、池等の損壊の危険度情報が無い所が多い。液状化現象の発生危険区域情報が無い。
  - ・防災対策の活動内容を知らない。参加しやすい工夫をしてほしい。
- 「2. 避難所の開設状況や避難勧告の発令など、災害時の情報提供が十分でない」
- ・自治会等に入会していれば案内されるが集合住宅や分譲地に自治会が無い場合の住人は情報が不十分だと思う。
  - ・防災情報、発令情報の入手方法などの広報充実や情報提供の充実が望まれる。
  - ・情報提供しているのかどうか知らないので市役所に行かなくても情報が得られるようにしてほしい。もっと身近なスーパーやコンビニで手に取って見れるように。
- 「3. 命を守るためのスキルやノウハウが身に付くような実践的な防災教育が十分でない」
- ・安全な場所への避難、誘導をする責任者人材の認定、養成。
- 「4. 災害時の住民に対する情報の伝達手段が十分でない」
- ・公的機関が半強制で入り、小さな地域ごとでいいので、防災訓練をしないとなかなか人は動かないと思う。
- 「5. 避難所の指定や、ハザードマップの作成など、事前の準備が十分でない」
- ・各家庭に定期的に避難所の場所やマップを配布する。
  - ・避難所までの道程の安全確認の不備、指定避難所の安全確認不足。
  - ・ハザードマップは作成されても河川の整備とか対策が出来ていない。
- 「6. 保存食や防災グッズなどの住民に対する配布が十分でない」
- ・住民個人が気がついたら、いつでもそこへ行けば配布してもらえるような場所を確保したり、周知して欲しい。
- 「7. 堤防のかさ上げなどのハード整備が十分でない」
- ・河川の残土の撤去が不十分。
  - ・自宅（社宅）の目の前が海だが、堤防が低いと怖い。社宅のため、引っ越すこともできない。堤防の整備をしてほしい。
- 「8. 住宅の耐震化や家具の転倒防止の呼びかけなどの普及啓発や支援が十分でない」
- ・最新の防災技術の情報や危ない施設の情報欲しい（事前に対策出来るように）。
  - ・一世帯一世帯に対する細やかさが十分でなく大まかな地域への情報伝達でしかない。
- 「9. 避難所における食料、飲料水、医薬品などの備蓄が十分でない」
- ・地域の特徴も理解してその上での対策を考えて欲しい。
- 「10. 県や市町がいくら防災・減災対策に取り組んでも、絶対に安全であるとは言いきれない」
- ・自宅が山の麓なので大雨の際不安である。最近は予測できない雨が降ることが多い。
- 「11. 地域の自主防災組織や消防団の活動に対する支援が十分でない」
- ・消防団員になる方が少なく、又高齢化している。対策が必要。
- 「12. その他」
- ・天災だけでなく、今後あらゆる災難に対して考えてほしい。

(11) 今後、県や市町に特に力を入れて取り組んでもらいたい防災・減災対策について

問3 今後、県や市町に特に力を入れて取り組んでもらいたい防災・減災対策は何ですか。次の中から3つまで選んでください。

※ ( ) 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=1,607】※回答数の多い順に並び替え

1	支援物資が確実に避難所に届く体制づくり	49.7% (50.4%)
2	食料、飲料水、医薬品などの備蓄	48.0% (49.1%)
3	災害時における被害情報の把握と迅速な情報提供	41.6% (40.7%)
4	避難所での快適な生活環境づくり	32.2% (32.2%)
5	避難所やハザードマップなどの情報提供	21.7% (22.1%)
6	防災に関する広報啓発、防災教育など防災意識の普及・啓発	17.7% (17.4%)
7	堤防のかさ上げなどのハード整備	12.8% (13.0%)
8	地域の自主防災組織や消防団の活動に対する支援	11.7% (11.1%)
9	災害に関する計画の充実	9.3% ( 9.3%)
10	防災訓練の充実	9.0% ( 8.4%)
11	ボランティア活動に対する支援体制づくり	8.2% ( 8.4%)
12	近県との広域応援体制の確立	6.3% ( 6.6%)
13	その他	2.3% ( 2.5%)
14	特にない	0.8% ( 0.7%)
	(無回答)	2.9% ( 2.7%)

今後、県や市町に特に力を入れて取り組んでもらいたい防災・減災対策について、「支援物資が確実に避難所に届く体制づくり」(49.7%)が最も高く、次いで「食料、飲料水、医薬品などの備蓄」(48.0%)、「災害時における被害情報の把握と迅速な情報提供」(41.6%)、「避難所での快適な生活環境づくり」(32.2%)などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「支援物資が確実に避難所に届く体制づくり」(50.4%)が最も高く、次いで「食料、飲料水、医薬品などの備蓄」(49.1%)、「災害時における被害情報の把握と迅速な情報提供」(40.7%)、「避難所での快適な生活環境づくり」(32.2%)などとなっている。

図表 1-(11)-1 今後、県や市町に特に力を入れて取り組んでもらいたい防災・減災対策について

		回答数
全体	100.0	1,607 人
(1) 支援物資が確実に避難所に届く体制づくり	49.7	798 人
(2) 食料、飲料水、医薬品などの備蓄	48.0	771 人
(3) 災害時における被害情報の把握と迅速な情報提供	41.6	669 人
(4) 避難所での快適な生活環境づくり	32.2	517 人
(5) 避難所やハザードマップなどの情報提供	21.7	348 人
(6) 防災に関する広報啓発、防災教育など防災意識の普及・啓発	17.7	284 人
(7) 堤防のかさ上げなどのハード整備	12.8	205 人
(8) 地域の自主防災組織や消防団の活動に対する支援	11.7	188 人
(9) 災害に関する計画の充実	9.3	149 人
(10) 防災訓練の充実	9.0	145 人
(11) ボランティア活動に対する支援体制づくり	8.2	132 人
(12) 近県との広域応援体制の確立	6.3	102 人
(13) その他	2.3	37 人
(14) 特にない	0.8	13 人
無回答	2.9	46 人

グラフ単位：(%)

## 2. 地産地消について

### (1) 地産地消の認知度について

問4 地産地消という言葉や意味を知っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

※ ( ) 内の割合はウェイトバックした値

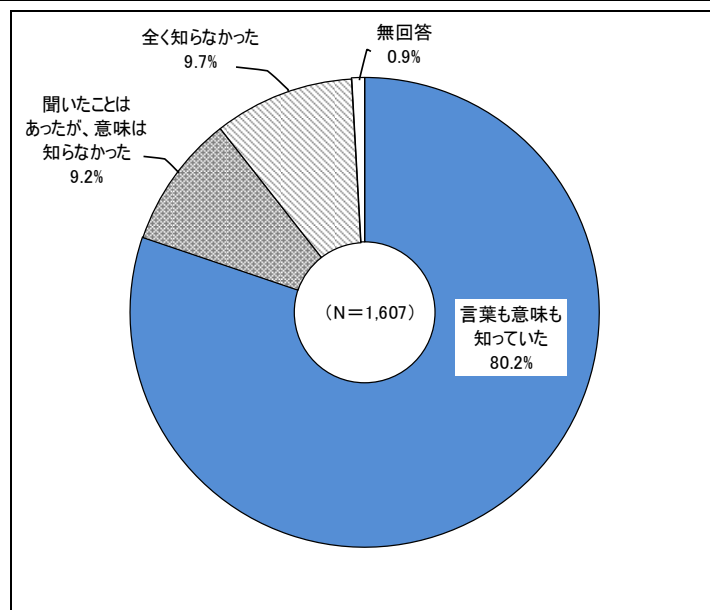
【回答者数=1,607】

1 言葉も意味も知っていた	80.2% (79.7%)
2 聞いたことはあったが、意味は知らなかった	9.2% (9.5%)
3 全く知らなかった	9.7% (9.9%)
(無回答)	0.9% (0.9%)

地産地消の認知度について、「言葉も意味も知っていた」(80.2%)が最も高く、次いで「全く知らなかった」(9.7%)、「聞いたことはあったが、意味は知らなかった」(9.2%)となっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「言葉も意味も知っていた」(79.7%)が最も高く、次いで「全く知らなかった」(9.9%)、「聞いたことはあったが、意味は知らなかった」(9.5%)となっている。

図表 2-(1)-1 地産地消の認知度について



(2)産地にこだわって食材を購入しているかについて

問5 あなたの家庭では、産地にこだわって食材を購入していますか。次の中から1つだけ選んでください。

※ ( ) 内の割合はウェイトバックした値

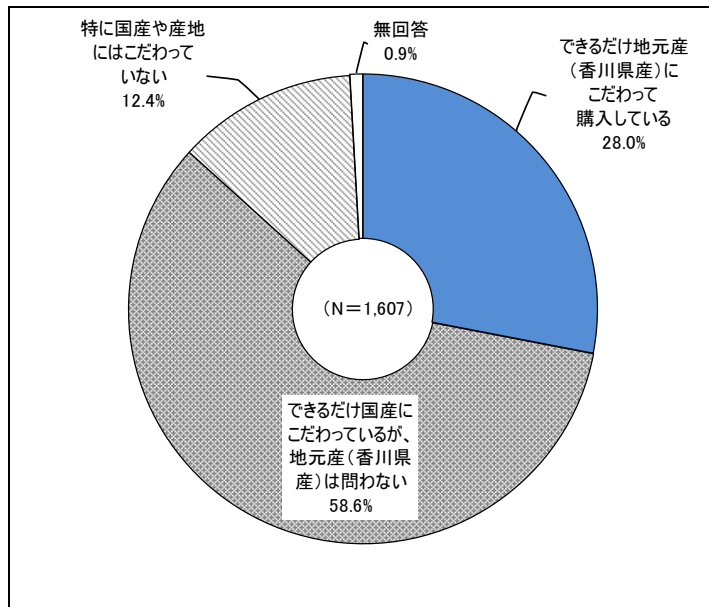
【回答者数=1,607】

1	できるだけ地元産（香川県産）にこだわって購入している	28.0% (27.1%)
2	できるだけ国産にこだわっているが、地元産（香川県産）は問わない	58.6% (58.6%)
3	特に国産や産地にはこだわっていない	12.4% (13.4%)
	(無回答)	0.9% ( 0.9%)

産地にこだわって食材を購入しているかについて、「できるだけ国産にこだわっているが、地元産（香川県産）は問わない」（58.6%）が最も高く、次いで「できるだけ地元産（香川県産）にこだわって購入している」（28.0%）、「特に国産や産地にはこだわっていない」（12.4%）となっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「できるだけ国産にこだわっているが、地元産（香川県産）は問わない」（58.6%）が最も高く、次いで「できるだけ地元産（香川県産）にこだわって購入している」（27.1%）、「特に国産や産地にはこだわっていない」（13.4%）となっている。

図表 2-(2)-1 産地にこだわって食材を購入しているかについて



**(3)産地にこだわって食材を購入している理由について**

【問5で「1」と答えた方にお聞きします】

付問9 その理由は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=450(436)】※回答数の多い順に並び替え

1	新鮮だから	85.3% (84.6%)
2	安全で安心できる (と思う) から	63.1% (62.1%)
3	旬や季節感が味わえるから	61.1% (59.9%)
4	地域の農地保全や農業・農村の振興につながるから	47.1% (47.4%)
5	地産地消の実践につながるから	41.3% (41.0%)
6	品質が良いから	40.2% (40.4%)
7	おいしいから	39.8% (41.0%)
8	地域の特産物 (伝統野菜、こだわりの野菜など) があるから	34.4% (34.5%)
9	価格が安いから	27.6% (27.3%)
10	その他	1.3% ( 1.6%)
	(無回答)	1.6% ( 1.9%)

産地にこだわって食材を購入している理由について、「新鮮だから」(85.3%)が最も高く、次いで「安全で安心できる (と思う) から」(63.1%)、「旬や季節感が味わえるから」(61.1%)、「地域の農地保全や農業・農村の振興につながるから」(47.1%)などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「新鮮だから」(84.6%)が最も高く、次いで「安全で安心できる (と思う) から」(62.1%)、「旬や季節感が味わえるから」(59.9%)、「地域の農地保全や農業・農村の振興につながるから」(47.4%)などとなっている。

図表 2-(3)-1 産地にこだわって食材を購入している理由について

		回答数
全体	100.0	450 人
(1) 新鮮だから	85.3	384 人
(2) 安全で安心できる(と思う)から	63.1	284 人
(3) 旬や季節感が味わえるから	61.1	275 人
(4) 地域の農地保全や農業・農村の振興につながるから	47.1	212 人
(5) 地産地消の実践につながるから	41.3	186 人
(6) 品質が良いから	40.2	181 人
(7) おいしいから	39.8	179 人
(8) 地域の特産物(伝統野菜、こだわりの野菜など)があるから	34.4	155 人
(9) 価格が安いから	27.6	124 人
(10) その他	1.3	6 人
無回答	1.6	7 人

グラフ単位:(%)

**(4) 地元産(香川県産)の食材にこだわらない理由について**

【問5で「2」または「3」と答えた方にお聞きします】

付問10 地元産(香川県産)の食材にこだわらない理由は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=1,142(1,157)】※回答数の多い順に並び替え

1 価格や品質が同じなら、地元産にこだわる必要はない	62.0% (61.7%)
2 購入したい地元産の食材が見当たらない	19.7% (19.7%)
3 地元産の食材の価格が手頃でない	18.8% (19.6%)
4 どんな地元産の食材があるのかわからない	17.6% (17.5%)
5 どこで地元産の食材が購入できるのかわからない	12.3% (12.1%)
6 その他	8.0% ( 7.9%)
(無回答)	6.1% ( 5.7%)

地元産(香川県産)の食材にこだわらない理由について、「価格や品質が同じなら、地元産にこだわる必要はない」(62.0%)が最も高く、次いで「購入したい地元産の食材が見当たらない」(19.7%)、「地元産の食材の価格が手頃でない」(18.8%)、「どんな地元産の食材があるのかわからない」(17.6%)などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「価格や品質が同じなら、地元産にこだわる必要はない」(61.7%)が最も高く、次いで「購入したい地元産の食材が見当たらない」(19.7%)、「地元産の食材の価格が手頃でない」(19.6%)、「どんな地元産の食材があるのかわからない」(17.5%)などとなっている。

**図表 2-(4)-1 地元産(香川県産)の食材にこだわらない理由について**

	割合 (%)	回答数
全体	100.0	1,142 人
(1) 価格や品質が同じなら、地元産にこだわる必要はない	62.0	708 人
(2) 購入したい地元産の食材が見当たらない	19.7	225 人
(3) 地元産の食材の価格が手頃でない	18.8	215 人
(4) どんな地元産の食材があるのかわからない	17.6	201 人
(5) どこで地元産の食材が購入できるのかわからない	12.3	140 人
(6) その他	8.0	91 人
無回答	6.1	70 人

グラフ単位: (%)



**(5) 地元産(香川県産)の食材にこだわって料理を提供している飲食店を利用しているかについて**

問6 県内には地元産(香川県産)の食材にこだわって料理を提供する飲食店がありますが、優先して利用していますか。次の中から1つだけ選んでください。

※ ( ) 内の割合はウェイトバックした値

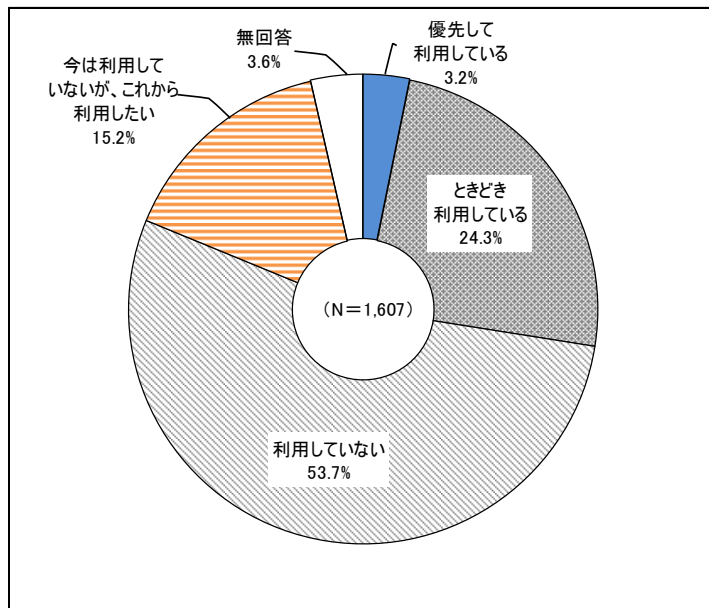
【回答者数=1,607】

1 優先して利用している	3.2% ( 3.0%)
2 ときどき利用している	24.3% (24.3%)
3 利用していない	53.7% (54.6%)
4 今は利用していないが、これから利用したい (無回答)	15.2% (14.6%) 3.6% ( 3.5%)

地元産(香川県産)の食材にこだわって料理を提供している飲食店を利用しているかについて、「利用していない」(53.7%)が最も高く、次いで「ときどき利用している」(24.3%)、「今は利用していないが、これから利用したい」(15.2%)、「優先して利用している」(3.2%)となっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「利用していない」(54.6%)が最も高く、次いで「ときどき利用している」(24.3%)、「今は利用していないが、これから利用したい」(14.6%)、「優先して利用している」(3.0%)となっている。

**図表 2-(5)-1 地元産(香川県産)の食材にこだわって料理を提供している飲食店を利用しているかについて**



(6) 地元産(香川県産)の食材にこだわって料理を提供している飲食店を利用している理由について

【問6で「1」または「2」と答えた方にお聞きします】

付問11 地元産(香川県産)の食材にこだわって料理を提供する飲食店を利用している理由は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=442(439)】 ※回答数の多い順に並び替え

1 旬や季節感が味わえるから	66.1%(65.2%)
2 新鮮な食材が使われ、健康に良いと思うから	60.6%(58.9%)
3 香川らしい料理が味わえるから	42.5%(43.6%)
4 地産地消の実践につながるから	36.9%(35.7%)
5 本県の農林水産業を応援できるから	26.2%(25.0%)
6 県外客に紹介することができるから	17.6%(17.8%)
7 その他	2.0%(2.2%)
(無回答)	1.6%(1.6%)

地元産(香川県産)の食材にこだわって料理を提供している飲食店を利用している理由について、「旬や季節感が味わえるから」(66.1%)が最も高く、次いで「新鮮な食材が使われ、健康に良いと思うから」(60.6%)、「香川らしい料理が味わえるから」(42.5%)、「地産地消の実践につながるから」(36.9%)などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「旬や季節感が味わえるから」(65.2%)が最も高く、次いで「新鮮な食材が使われ、健康に良いと思うから」(58.9%)、「香川らしい料理が味わえるから」(43.6%)、「地産地消の実践につながるから」(35.7%)などとなっている。

図表 2-(6)-1 地元産(香川県産)の食材にこだわって料理を提供している飲食店を利用している理由について

	割合	回答数
全体	100.0	442 人
(1) 旬や季節感が味わえるから	66.1	292 人
(2) 新鮮な食材が使われ、健康に良いと思うから	60.6	268 人
(3) 香川らしい料理が味わえるから	42.5	188 人
(4) 地産地消の実践につながるから	36.9	163 人
(5) 本県の農林水産業を応援できるから	26.2	116 人
(6) 県外客に紹介することができるから	17.6	78 人
(7) その他	2.0	9 人
無回答	1.6	7 人

グラフ単位: (%)

**(7) 地元産(香川県産)の食材にこだわって料理を提供している飲食店を利用していない理由について**

【問6で「3」または「4」と答えた方にお聞きします】

付問12 地元産(香川県産)の食材にこだわって料理を提供する飲食店を利用していない理由は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

※ ( ) 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=1,107(1,112)】※回答数の多い順に並び替え

1	地元産の食材にこだわったお店がどこにあるのかわからない	67.4%(66.6%)
2	地元産の食材を使った料理かどうかかわからない	39.9%(38.5%)
3	味や価格などが同じであれば、食材には関心がない	27.3%(28.4%)
4	地元産の食材にこだわったお店が少ない	24.0%(23.3%)
5	地元産の食材を使った料理は、割高に感じる	11.4%(11.8%)
6	その他	9.9%(9.7%)
	(無回答)	1.1%(1.0%)

地元産(香川県産)の食材にこだわって料理を提供している飲食店を利用していない理由について、「地元産の食材にこだわったお店がどこにあるのかわからない」(67.4%)が最も高く、次いで「地元産の食材を使った料理かどうかかわからない」(39.9%)、「味や価格などが同じであれば、食材には関心がない」(27.3%)、「地元産の食材にこだわったお店が少ない」(24.0%)などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「地元産の食材にこだわったお店がどこにあるのかわからない」(66.6%)が最も高く、次いで「地元産の食材を使った料理かどうかかわからない」(38.5%)、「味や価格などが同じであれば、食材には関心がない」(28.4%)、「地元産の食材にこだわったお店が少ない」(23.3%)などとなっている。

**図表 2-(7)-1 地元産(香川県産)の食材にこだわって料理を提供している飲食店を利用していない理由について**

		回答数
全体	100.0	1,107 人
(1) 地元産の食材にこだわったお店がどこにあるのかわからない	67.4	746 人
(2) 地元産の食材を使った料理かどうかかわからない	39.9	442 人
(3) 味や価格などが同じであれば、食材には関心がない	27.3	302 人
(4) 地元産の食材にこだわったお店が少ない	24.0	266 人
(5) 地元産の食材を使った料理は、割高に感じる	11.4	126 人
(6) その他	9.9	110 人
無回答	1.1	12 人

グラフ単位: (%)

**(8)引き続き、地産地消を推進していくべきと思うかについて**

問7 県では、これまで地産地消の推進に取り組んできましたが、引き続き、地産地消を推進していくべきと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

※ ()内の割合はウェイトバックした値

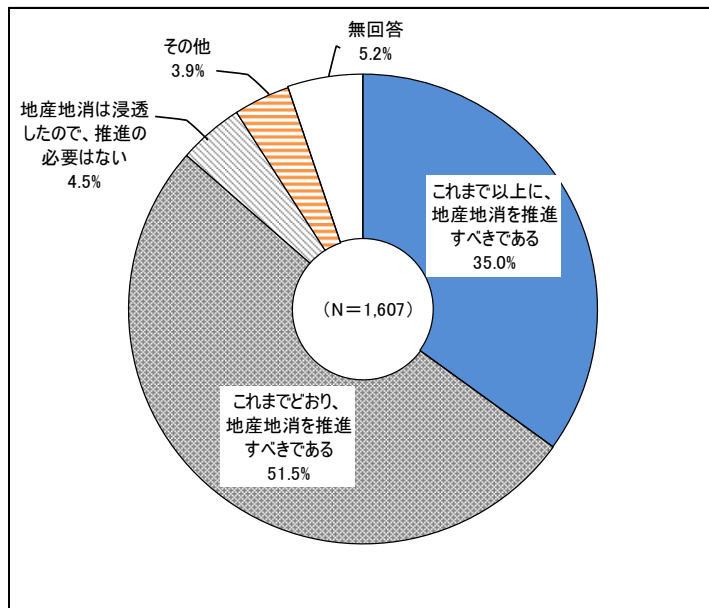
【回答者数=1,607】

1	これまで以上に、地産地消を推進すべきである	35.0% (35.9%)
2	これまでどおり、地産地消を推進すべきである	51.5% (50.7%)
3	地産地消は浸透したので、推進の必要はない	4.5% ( 4.5%)
4	その他	3.9% ( 3.9%)
	(無回答)	5.2% ( 5.0%)

引き続き、地産地消を推進していくべきと思うかについて、「これまでどおり、地産地消を推進すべきである」(51.5%)が最も高く、次いで「これまで以上に、地産地消を推進すべきである」(35.0%)、「地産地消は浸透したので、推進の必要はない」(4.5%)、「その他」(3.9%)となっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「これまでどおり、地産地消を推進すべきである」(50.7%)が最も高く、次いで「これまで以上に、地産地消を推進すべきである」(35.9%)、「地産地消は浸透したので、推進の必要はない」(4.5%)、「その他」(3.9%)となっている。

**図表 2-(7)-1 引き続き、地産地消を推進していくべきと思うかについて**



**(9) 地産地消を推進するためには、どのような取り組みが必要と思うかについて**

【問7で「1」または「2」と答えた方にお聞きします】

付問13 地産地消を推進するためには、どのような取り組みが必要と思いますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

※ ( ) 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=1,389(1,391)】※回答数の多い順に並び替え

1	地産地消のメリットをもっとPRする	59.1% (58.9%)
2	香川県でとれる農林水産物の種類や出荷時期など、情報発信を充実させる	58.0% (56.6%)
3	学校給食において、地元産の食材の利用を進める	52.8% (53.7%)
4	地元産の農林水産物を購入できる産直施設や量販店、小売店などを増やす	41.6% (40.6%)
5	香川県産の農林水産物に関するイベントなどを開催する	40.7% (40.9%)
6	地元産の食材を活かした地域の食文化、たとえば郷土料理を守り伝える	35.8% (35.3%)
7	企業や病院、保育所、社会福祉施設などにおいて、地元産の食材の利用を増やす	35.2% (35.0%)
8	香川県産の農林水産物の生産拡大とその県内への流通を促進する	25.9% (25.7%)
9	地域の農林水産業についての学習や生産体験、生産者との交流など、食育活動を促進する	23.0% (23.4%)
10	高品質で新鮮な農林水産物の生産に努める	22.9% (22.4%)
11	地元産の食材にこだわった飲食店やホテル・旅館などを増やす	18.8% (19.4%)
12	地産地消推進月間を定めるなど、重点的に地産地消を推進する	13.3% (13.3%)
13	その他	3.0% ( 3.2%)
	(無回答)	0.7% ( 0.7%)

地産地消を推進するためには、どのような取り組みが必要と思うかについて、「地産地消のメリットをもっとPRする」(59.1%)が最も高く、次いで「香川県でとれる農林水産物の種類や出荷時期など、情報発信を充実させる」(58.0%)、「学校給食において、地元産の食材の利用を進める」(52.8%)、「地元産の農林水産物を購入できる産直施設や量販店、小売店などを増やす」(41.6%)などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「地産地消のメリットをもっとPRする」(58.9%)が最も高く、次いで「香川県でとれる農林水産物の種類や出荷時期など、情報発信を充実させる」(56.6%)、「学校給食において、地元産の食材の利用を進める」(53.7%)、「香川県産の農林水産物に関するイベントなどを開催する」(40.9%)などとなっている。

図表 2-(9)-1 地産地消を推進するためには、どのような取り組みが必要と思うかについて

		回答数
全体	100.0	1,389 人
(1) 地産地消のメリットをもっとPRする	59.1	821 人
(2) 香川県でとれる農林水産物の種類や 出回時期など、情報発信を充実させる	58.0	806 人
(3) 学校給食において、地元産の食材の利用を 進める	52.8	734 人
(4) 地元産の農林水産物を購入できる産直施設 や量販店、小売店などを増やす	41.6	578 人
(5) 香川県産の農林水産物に関するイベントなどを 開催する	40.7	565 人
(6) 地元産の食材を活かした地域の食文化、 たとえば郷土料理を守り伝える	35.8	497 人
(7) 企業や病院、保育所、社会福祉施設などに おいて、地元産の食材の利用を増やす	35.2	489 人
(8) 香川県産の農林水産物の生産拡大と その県内への流通を促進する	25.9	360 人
(9) 地域の農林水産業についての学習や生産 体験、生産者との交流など、食育活動を 促進する	23.0	319 人
(10) 高品質で新鮮な農林水産物の生産に努める	22.9	318 人
(11) 地元産の食材にこだわった飲食店やホテル・ 旅館などを増やす	18.8	261 人
(12) 地産地消推進月間を定めるなど、重点的に 地産地消を推進する	13.3	185 人
(13) その他	3.0	42 人
無回答	0.7	10 人

グラフ単位：(%)

### 3. 動物の愛護と管理について

#### (1) 動物のことで迷惑を感じたことについて

問8 動物のことで迷惑を感じたことがありますか。それは、どんな動物からですか。次の中から主なものを1つだけ選んでください。

※ ( ) 内の割合はウェイトバックした値

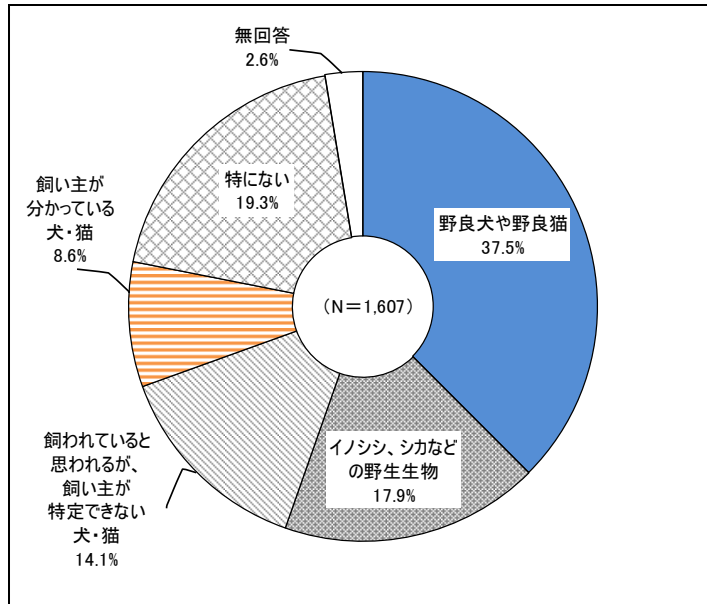
【回答者数=1,607】

1 野良犬や野良猫	37.5% (37.4%)
2 イノシシ、シカなどの野生動物	17.9% (17.6%)
3 飼われていると思われるが、飼い主が特定できない犬・猫	14.1% (13.6%)
4 飼い主が分かっている犬・猫	8.6% ( 8.4%)
5 特にない	19.3% (20.5%)
(無回答)	2.6% ( 2.5%)

動物のことで迷惑を感じたことについて、「野良犬や野良猫」(37.5%)が最も高く、次いで「特にない」(19.3%)、「イノシシ、シカなどの野生動物」(17.9%)、「飼われていると思われるが、飼い主が特定できない犬・猫」(14.1%)などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「野良犬や野良猫」(37.4%)が最も高く、次いで「特にない」(20.5%)、「イノシシ、シカなどの野生動物」(17.6%)、「飼われていると思われるが、飼い主が特定できない犬・猫」(13.6%)などとなっている。

図表 3-(1)-1 動物のことで迷惑を感じたことについて



(2)お住まいの周辺に、野良犬がいた場合、どう思うかについて

問9 あなたのお住まいの周辺に、野良犬がいた場合、どう思いますか。次の中から主なものを1つだけ選んでください。

※ ( ) 内の割合はウェイトバックした値

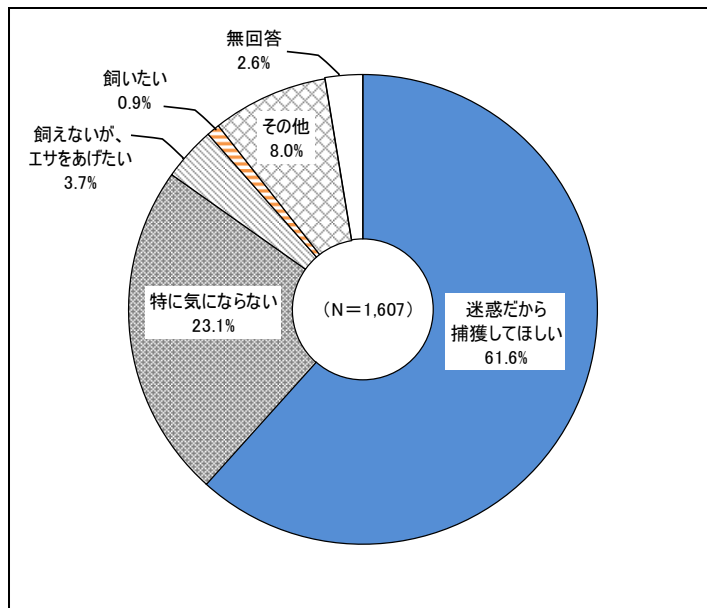
【回答者数=1,607】

1 迷惑だから捕獲してほしい	61.6% (59.5%)
2 特に気にならない	23.1% (24.7%)
3 飼えないが、エサをあげたい	3.7% ( 4.0%)
4 飼いたい	0.9% ( 1.1%)
5 その他	8.0% ( 8.3%)
(無回答)	2.6% ( 2.4%)

お住まいの周辺に、野良犬がいた場合、どう思うかについて、「迷惑だから捕獲してほしい」(61.6%)が最も高く、次いで「特に気にならない」(23.1%)、「その他」(8.0%)、「飼えないが、エサをあげたい」(3.7%)などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「迷惑だから捕獲してほしい」(59.5%)が最も高く、次いで「特に気にならない」(24.7%)、「その他」(8.3%)、「飼えないが、エサをあげたい」(4.0%)などとなっている。

図表 3-(2)-1 お住まいの周辺に、野良犬がいた場合、どう思うかについて





**(3) 犬・猫の殺処分数を減少させるためには、どうすればよいかについて**

問10 犬・猫の殺処分数を減少させるためには、どうすればよいと考えますか。次の中から3つまで選んでください。

※ ( ) 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=1,607】※回答数の多い順に並び替え

- |   |   |               |
|---|---|---------------|
| 1 | 飼い主は、最後まで責任を持って飼うべきであり、保健所に持ち込むことを厳格に規制する                           | 67.1% (66.9%) |
| 2 | 犬の放し飼いは、条例で禁止されていることを周知徹底し、猫を飼っている場合には、不妊去勢手術を実施する                  | 60.1% (59.1%) |
| 3 | 捕獲・収容した犬・猫で譲渡に適した性質がある犬・猫は、譲渡ボランティアやミルクボランティアと連携・協力して、よりいっそう譲渡を推進する | 45.7% (45.9%) |
| 4 | 野良犬・野良猫を増やす無責任なエサやり行為について、罰則を設けて禁止する                                | 36.2% (35.5%) |
| 5 | 一時的に殺処分数が増える可能性があるが、一度、集中的に野良犬の捕獲・収容を強化して野良犬の数そのものを減らす              | 23.0% (22.9%) |
| 6 | その他   | 5.2% ( 6.0%)  |
|   | (無回答)   | 1.7% ( 1.6%)  |

犬・猫の殺処分数を減少させるためには、どうすればよいかについて、「飼い主は、最後まで責任を持って飼うべきであり、保健所に持ち込むことを厳格に規制する」(67.1%)が最も高く、次いで「犬の放し飼いは、条例で禁止されていることを周知徹底し、猫を飼っている場合には、不妊去勢手術を実施する」(60.1%)、「捕獲・収容した犬・猫で譲渡に適した性質がある犬・猫は、譲渡ボランティアやミルクボランティアと連携・協力して、よりいっそう譲渡を推進する」(45.7%)、「野良犬・野良猫を増やす無責任なエサやり行為について、罰則を設けて禁止する」(36.2%)などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「飼い主は、最後まで責任を持って飼うべきであり、保健所に持ち込むことを厳格に規制する」(66.9%)が最も高く、次いで「犬の放し飼いは、条例で禁止されていることを周知徹底し、猫を飼っている場合には、不妊去勢手術を実施する」(59.1%)、「捕獲・収容した犬・猫で譲渡に適した性質がある犬・猫は、譲渡ボランティアやミルクボランティアと連携・協力して、よりいっそう譲渡を推進する」(45.9%)、「野良犬・野良猫を増やす無責任なエサやり行為について、罰則を設けて禁止する」(35.5%)などとなっている。

図表 3-(3)-1 犬・猫の殺処分数を減少させるためには、どうすればよいかについて

		回答数
全体	100.0	1,607 人
(1) 飼い主は、最後まで責任を持って飼うべきであり、保健所に持ち込むことを厳格に規制する	67.1	1,079 人
(2) 犬の放し飼いは、条例で禁止されていることを周知徹底し、猫を飼っている場合には、不妊去勢手術を実施する	60.1	966 人
(3) 捕獲・収容した犬・猫で譲渡に適した性質がある犬・猫は、譲渡ボランティアやミルクボランティアと連携・協力して、よりいっそう譲渡を推進する	45.7	735 人
(4) 野良犬・野良猫を増やす無責任なエサやり行為について、罰則を設けて禁止する	36.2	582 人
(5) 一時的に殺処分数が増える可能性があるが、一度、集中的に野良犬の捕獲・収容を強化して野良犬の数そのものを減らす	23.0	370 人
(6) その他	5.2	83 人
無回答	1.7	27 人

グラフ単位：(%)

(4)動物愛護センターに期待する事業について

問11 平成30年度中にさぬき動物愛護センターが開設する予定です。動物愛護センターに期待する事業は何ですか。次の中から1つだけ選んでください。

※ ( ) 内の割合はウェイトバックした値

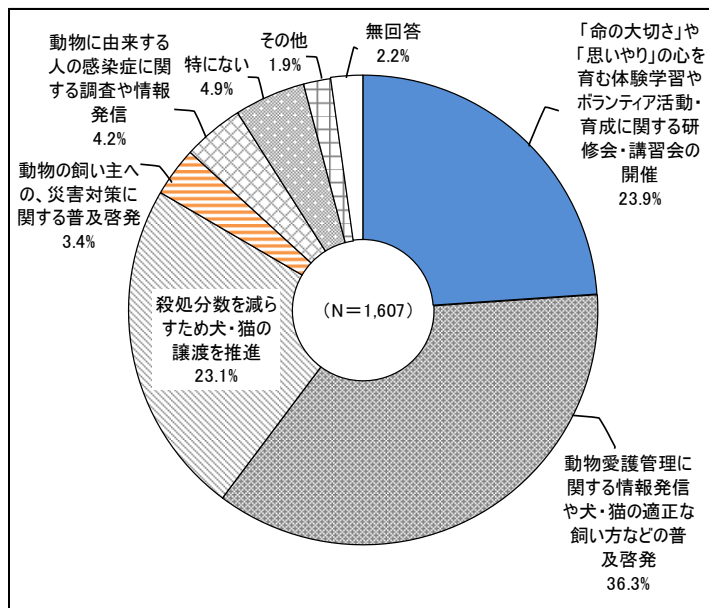
【回答者数=1,607】

1 「命の大切さ」や「思いやり」の心を育む体験学習やボランティア活動・育成に関する研修会・講習会の開催	23.9% (23.7%)
2 動物愛護管理に関する情報発信や犬・猫の適正な飼い方などの普及啓発	36.3% (35.6%)
3 殺処分数を減らすため犬・猫の譲渡を推進	23.1% (24.2%)
4 動物の飼い主への、災害対策に関する普及啓発	3.4% ( 3.5%)
5 動物に由来する人の感染症に関する調査や情報発信	4.2% ( 4.0%)
6 特にない	4.9% ( 4.8%)
7 その他	1.9% ( 2.1%)
(無回答)	2.2% ( 2.0%)

動物愛護センターに期待する事業について、「動物愛護管理に関する情報発信や犬・猫の適正な飼い方などの普及啓発」(36.3%)が最も高く、次いで「命の大切さ」や「思いやり」の心を育む体験学習やボランティア活動・育成に関する研修会・講習会の開催」(23.9%)、「殺処分数を減らすため犬・猫の譲渡を推進」(23.1%)、「特にない」(4.9%)などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「動物愛護管理に関する情報発信や犬・猫の適正な飼い方などの普及啓発」(35.6%)が最も高く、次いで「殺処分数を減らすため犬・猫の譲渡を推進」(24.2%)、「命の大切さ」や「思いやり」の心を育む体験学習やボランティア活動・育成に関する研修会・講習会の開催」(23.7%)、「特にない」(4.8%)などとなっている。

図表 3-(4)-1 動物愛護センターに期待する事業について



(5)ペットを飼っているかについて

問12 あなたは、ペットを飼っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

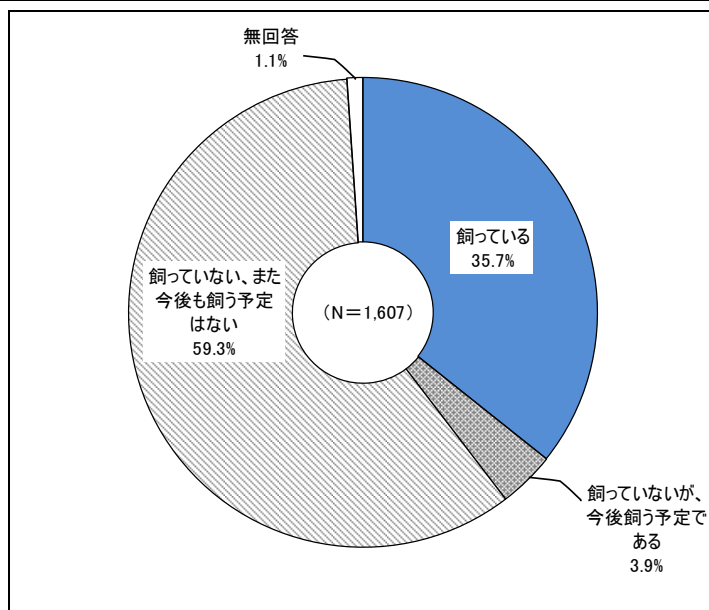
【回答者数=1,607】

1 飼っている	35.7% (35.9%)
2 飼っていないが、今後飼う予定である	3.9% ( 4.2%)
3 飼っていない、また今後も飼う予定はない (無回答)	59.3% (59.0%) 1.1% ( 1.0%)

ペットを飼っているかについて、「飼っていない、また今後も飼う予定はない」(59.3%)が最も高く、次いで「飼っている」(35.7%)、「飼っていないが、今後飼う予定である」(3.9%)となっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「飼っていない、また今後も飼う予定はない」(59.0%)が最も高く、次いで「飼っている」(35.9%)、「飼っていないが、今後飼う予定である」(4.2%)となっている。

図表 3-(5)-1 ペットを飼っているかについて



(6)どんなペットを飼っているかについて

【問12で「1」と答えた方にお聞きします】

付問14 あなたは、どんなペットを飼っていますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

※ ( ) 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=574(577)】 ※回答数の多い順に並び替え

1 犬	64.3% (64.0%)
2 猫	37.1% (37.1%)
3 魚類	15.7% (16.4%)
4 爬虫類 (カメなど)	3.8% ( 4.0%)
5 哺乳類 (犬・猫を除く)	3.1% ( 3.4%)
6 鳥類	2.8% ( 3.2%)
7 その他	1.0% ( 1.3%)
(無回答)	1.0% ( 1.0%)

どんなペットを飼っているかについて、「犬」(64.3%)が最も高く、次いで「猫」(37.1%)、「魚類」(15.7%)、「爬虫類(カメなど)」(3.8%)などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「犬」(64.0%)が最も高く、次いで「猫」(37.1%)、「魚類」(16.4%)、「爬虫類(カメなど)」(4.0%)などとなっている。

図表 3-(6)-1 どんなペットを飼っているかについて

	割合	回答数
全体	100.0	574 人
(1) 犬	64.3	369 人
(2) 猫	37.1	213 人
(3) 魚類	15.7	90 人
(4) 爬虫類(カメなど)	3.8	22 人
(5) 哺乳類(犬・猫を除く)	3.1	18 人
(6) 鳥類	2.8	16 人
(7) その他	1.0	6 人
無回答	1.0	6 人

グラフ単位: (%)

(7)ペットの入手方法について

付問15 ペットの入手方法について、次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

※ ( ) 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=574(577)】※回答数の多い順に並び替え

1	ペットショップやブリーダーから購入した	41.5% (42.5%)
2	知人から譲り受けた	40.1% (39.4%)
3	拾った	26.3% (26.9%)
4	譲渡会や新聞・情報誌を利用して譲り受けた	6.1% ( 6.0%)
5	保健所などの行政機関から譲り受けた	3.3% ( 3.2%)
6	その他	3.8% ( 4.4%)
	(無回答)	2.1% ( 2.0%)

ペットの入手方法について、「ペットショップやブリーダーから購入した」(41.5%)が最も高く、次いで「知人から譲り受けた」(40.1%)、「拾った」(26.3%)、「譲渡会や新聞・情報誌を利用して譲り受けた」(6.1%)などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「ペットショップやブリーダーから購入した」(42.5%)が最も高く、次いで「知人から譲り受けた」(39.4%)、「拾った」(26.9%)、「譲渡会や新聞・情報誌を利用して譲り受けた」(6.0%)などとなっている。

図表 3-(7)-1 ペットの入手方法について

		回答数
全体	100.0	574 人
(1) ペットショップやブリーダーから購入した	41.5	238 人
(2) 知人から譲り受けた	40.1	230 人
(3) 拾った	26.3	151 人
(4) 譲渡会や新聞・情報誌を利用して譲り受けた	6.1	35 人
(5) 保健所などの行政機関から譲り受けた	3.3	19 人
(6) その他	3.8	22 人
無回答	2.1	12 人

グラフ単位：(%)

(8) 日ごろからペットの災害時の対策を講じているかについて

付問16 あなたは、日ごろからペットの災害時の対策を講じていますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

※ ( ) 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=574(577)】 ※回答数の多い順に並び替え

1 ペットの脱走防止	33.6% (34.3%)
2 ペットと一緒に避難するためのペット用品の確保	21.6% (21.4%)
3 名札などの装着	14.3% (14.2%)
4 動物の避難場所の想定	6.4% ( 7.1%)
5 何もしていない	47.4% (46.8%)
6 その他	1.6% ( 1.7%)
(無回答)	2.3% ( 2.1%)

日ごろからペットの災害時の対策を講じているかについて、「何もしていない」(47.4%)が最も高く、次いで「ペットの脱走防止」(33.6%)、「ペットと一緒に避難するためのペット用品の確保」(21.6%)、「名札などの装着」(14.3%)などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「何もしていない」(46.8%)が最も高く、次いで「ペットの脱走防止」(34.3%)、「ペットと一緒に避難するためのペット用品の確保」(21.4%)、「名札などの装着」(14.2%)などとなっている。

図表 3-(8)-1 日ごろからペットの災害時の対策を講じているかについて

	割合 (%)	回答数
全体	100.0	574 人
(1) ペットの脱走防止	33.6	193 人
(2) ペットと一緒に避難するためのペット用品の確保	21.6	124 人
(3) 名札などの装着	14.3	82 人
(4) 動物の避難場所の想定	6.4	37 人
(5) 何もしていない	47.4	272 人
(6) その他	1.6	9 人
無回答	2.3	13 人

グラフ単位: (%)

(9) 災害時にペットに関することで、一番不安なことについて

付問17 災害時にペットに関することで、一番不安なことは何ですか。次の中から主なものを1つだけ選んでください。

※ ( ) 内の割合はウェイトバックした値

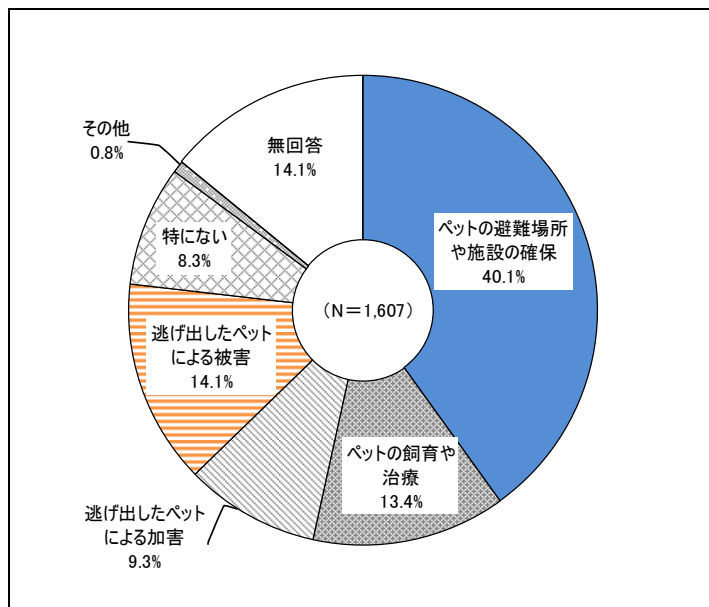
【回答者数=1,607】

1 ペットの避難場所や施設の確保	40.1% (40.7%)
2 ペットの飼育や治療	13.4% (13.5%)
3 逃げ出したペットによる加害	9.3% ( 8.8%)
4 逃げ出したペットによる被害	14.1% (13.9%)
5 特にない	8.3% ( 8.5%)
6 その他	0.8% ( 1.0%)
(無回答)	14.1% (13.6%)

災害時にペットに関することで、一番不安なことについて、「ペットの避難場所や施設の確保」(40.1%)が最も高く、次いで「逃げ出したペットによる被害」(14.1%)、「ペットの飼育や治療」(13.4%)、「逃げ出したペットによる加害」(9.3%)などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「ペットの避難場所や施設の確保」(40.7%)が最も高く、次いで「逃げ出したペットによる被害」(13.9%)、「ペットの飼育や治療」(13.5%)、「逃げ出したペットによる加害」(8.8%)などとなっている。

図表 3-(9)-1 災害時にペットに関することで、一番不安なことについて





(10)飼っている犬が迷子になったときの対策について

【犬を飼っている方にお聞きます】

付問18 飼っている犬が迷子になったときの対策をしていますか。次の中からあてはまるものすべてを選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=369】 ※回答数の多い順に並び替え

- |   |   |              |
|---|---|--------------|
| 1 | 首輪などをつけているが、飼い主と連絡が取れる措置はしていない              | 45.5%(46.1%) |
| 2 | 飼い主と連絡が取れる措置<br>(迷子札や犬の鑑札などの装着、首輪への連絡先記入など) | 20.6%(20.6%) |
| 3 | マイクロチップを挿入している                              | 5.1%( 5.1%)  |
| 4 | 何もしていない                                     | 25.7%(25.3%) |
| 5 | その他   | 4.1%( 4.8%)  |
|   | (無回答)                                       | 2.7%( 2.6%)  |

飼っている犬が迷子になったときの対策について、「首輪などをつけているが、飼い主と連絡が取れる措置はしていない」(45.5%)が最も高く、次いで「何もしていない」(25.7%)、「飼い主と連絡が取れる措置(迷子札や犬の鑑札などの装着、首輪への連絡先記入など)」(20.6%)、「マイクロチップを挿入している」(5.1%)などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「首輪などをつけているが、飼い主と連絡が取れる措置はしていない」(46.1%)が最も高く、次いで「何もしていない」(25.3%)、「飼い主と連絡が取れる措置(迷子札や犬の鑑札などの装着、首輪への連絡先記入など)」(20.6%)、「マイクロチップを挿入している」(5.1%)などとなっている。

図表 3-(10)-1 飼っている犬が迷子になったときの対策について

		回答数
全体	100.0	369 人
(1) 首輪などをつけているが、飼い主と連絡が取れる措置はしていない	45.5	168 人
(2) 飼い主と連絡が取れる措置(迷子札や犬の鑑札などの装着、首輪への連絡先記入など)	20.6	76 人
(3) マイクロチップを挿入している	5.1	19 人
(4) 何もしていない	25.7	95 人
(5) その他	4.1	15 人
無回答	2.7	10 人

グラフ単位:(%)

(11) 犬の不妊・去勢手術をしているかについて

付問19 犬の不妊・去勢手術をしていますか。次の中から1つだけ選んでください。

※ ( ) 内の割合はウェイトバックした値

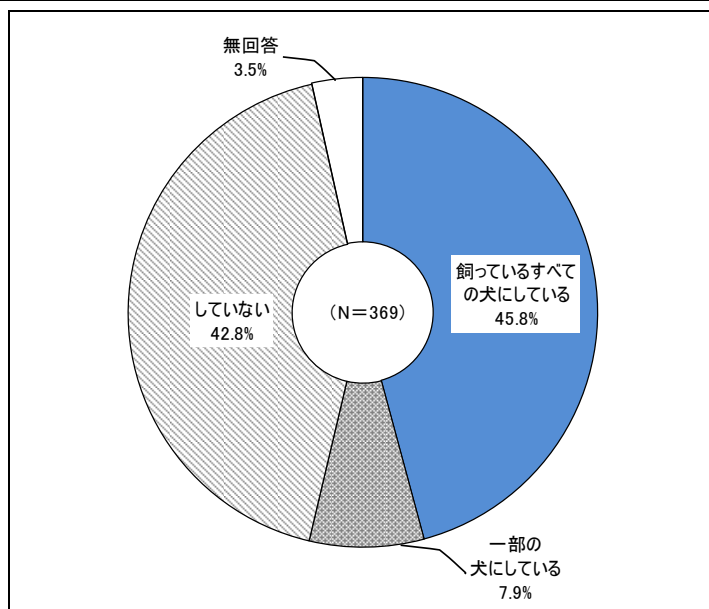
【回答者数=369】

1 飼っているすべての犬にしている	45.8% (44.9%)
2 一部の犬にしている	7.9% ( 9.0%)
3 していない	42.8% (42.6%)
(無回答)	3.5% ( 3.6%)

犬の不妊・去勢手術をしているかについて、「飼っているすべての犬にしている」(45.8%)が最も高く、次いで「していない」(42.8%)、「一部の犬にしている」(7.9%)となっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「飼っているすべての犬にしている」(44.9%)が最も高く、次いで「していない」(42.6%)、「一部の犬にしている」(9.0%)となっている。

図表 3-(11)-1 犬の不妊・去勢手術をしているかについて



(12)飼っている猫が迷子になったときの対策について

【猫を飼っている方にお聞きします】

付問20 飼っている猫が迷子になったときの対策をしていますか。次の中からあてはまるものすべてを選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=213(214)】※回答数の多い順に並び替え

1	首輪などをつけているが、飼い主と連絡が取れる措置はしていない	26.8%(28.5%)
2	飼い主と連絡が取れる措置 (迷子札などの装着、首輪への連絡先記入など)	11.7%(11.3%)
3	マイクロチップを挿入している	1.4%( 1.5%)
4	何もしていない	48.8%(47.6%)
5	その他 (無回答)	11.7%(12.2%) 2.8%( 2.4%)

飼っている猫が迷子になったときの対策について、「何もしていない」(48.8%)が最も高く、次いで「首輪などをつけているが、飼い主と連絡が取れる措置はしていない」(26.8%)、「飼い主と連絡が取れる措置(迷子札などの装着、首輪への連絡先記入など)」、「その他」(ともに11.7%)などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「何もしていない」(47.6%)が最も高く、次いで「首輪などをつけているが、飼い主と連絡が取れる措置はしていない」(28.5%)、「その他」(12.2%)、「飼い主と連絡が取れる措置(迷子札などの装着、首輪への連絡先記入など)」(11.3%)などとなっている。

図表 3-(12)-1 飼っている猫が迷子になったときの対策について

		回答数
全体	100.0	213 人
(1) 首輪などをつけているが、飼い主と連絡が取れる措置はしていない	26.8	57 人
(2) 飼い主と連絡が取れる措置(迷子札などの装着、首輪への連絡先記入など)	11.7	25 人
(3) マイクロチップを挿入している	1.4	3 人
(4) 何もしていない	48.8	104 人
(5) その他	11.7	25 人
無回答	2.8	6 人

グラフ単位:(%)

**(13)猫の不妊・去勢手術をしているかについて**

付問21 猫の不妊・去勢手術をしていますか。次の中から1つだけ選んでください。

※ ( ) 内の割合はウェイトバックした値

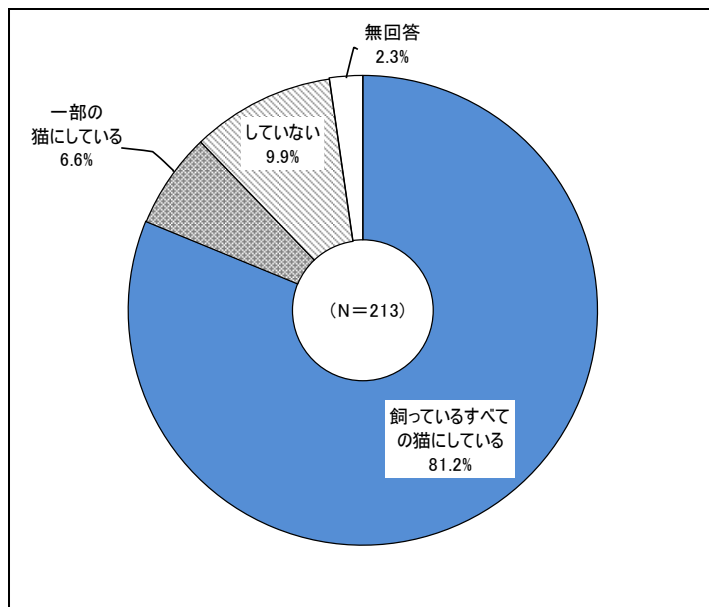
【回答者数=213(214)】

1 飼っているすべての猫にしている	81.2% (80.9%)
2 一部の猫にしている	6.6% ( 7.5%)
3 していない	9.9% ( 9.8%)
(無回答)	2.3% ( 1.8%)

猫の不妊・去勢手術をしているかについて、「飼っているすべての猫にしている」(81.2%)が最も高く、次いで「していない」(9.9%)、「一部の猫にしている」(6.6%)となっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「飼っているすべての猫にしている」(80.9%)が最も高く、次いで「していない」(9.8%)、「一部の猫にしている」(7.5%)となっている。

**図表 3-(13)-1 猫の不妊・去勢手術をしているかについて**



(14)どのようにして猫を飼っているかについて

付問22 どのようにして猫を飼っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

※ ( ) 内の割合はウェイトバックした値

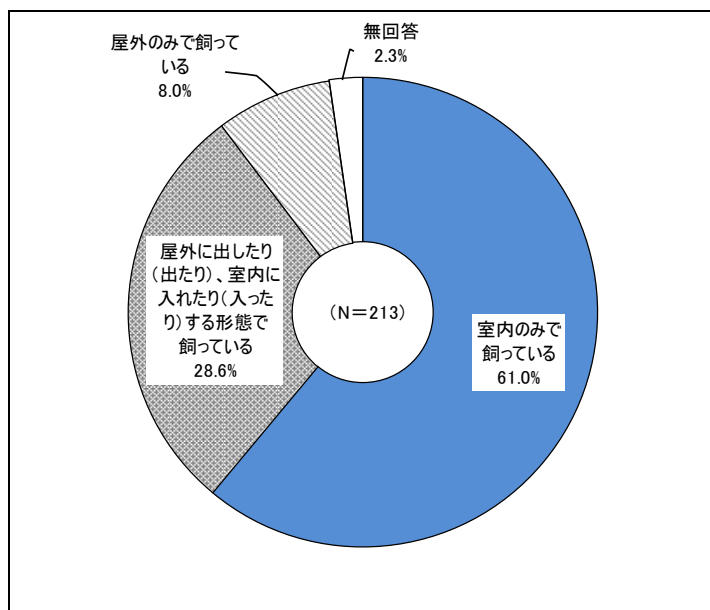
【回答者数=213(214)】

1 室内のみで飼っている	61.0% (61.3%)
2 屋外に出したり (出たり)、室内に入れたり (入ったり) する形態で飼っている	28.6% (29.3%)
3 屋外のみで飼っている	8.0% ( 7.5%)
4 その他	0.0% ( 0.0%)
(無回答)	2.3% ( 1.8%)

どのようにして猫を飼っているかについて、「室内のみで飼っている」(61.0%)が最も高く、次いで「屋外に出したり(出たり)、室内に入れたり(入ったり)する形態で飼っている」(28.6%)、「屋外のみで飼っている」(8.0%)となっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「室内のみで飼っている」(61.3%)が最も高く、次いで「屋外に出したり(出たり)、室内に入れたり(入ったり)する形態で飼っている」(29.3%)、「屋外のみで飼っている」(7.5%)となっている。

図表 3-(14)-1 どのようにして猫を飼っているかについて



## 4. 骨髄移植について

### (1) 骨髄移植に関心があるかについて

問13 あなたは、骨髄移植に関心がありますか。次の中から1つだけ選んでください。

※ ( ) 内の割合はウェイトバックした値

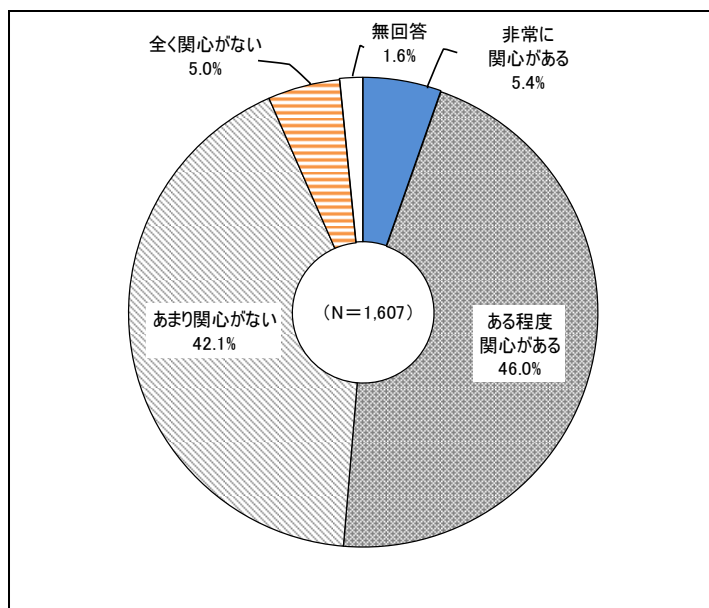
【回答者数=1,607】

1 非常に関心がある	5.4% ( 5.8%)
2 ある程度関心がある	46.0% (46.4%)
3 あまり関心がない	42.1% (41.0%)
4 全く関心がない	5.0% ( 5.4%)
(無回答)	1.6% ( 1.4%)

骨髄移植に関心があるかについて、「ある程度関心がある」(46.0%)が最も高く、次いで「あまり関心がない」(42.1%)、「非常に関心がある」(5.4%)、「全く関心がない」(5.0%)となっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「ある程度関心がある」(46.4%)が最も高く、次いで「あまり関心がない」(41.0%)、「非常に関心がある」(5.8%)、「全く関心がない」(5.4%)となっている。

図表 4-(1)-1 骨髄移植に関心があるかについて



(2) 骨髄移植に関心を持ったきっかけについて

【問13で「1」または「2」と答えた方にお聞きします】

付問23 あなたが骨髄移植に関心を持ったきっかけは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=825(839)】※回答数の多い順に並び替え

1	テレビ・ラジオで話題になったから	65.1% (64.8%)
2	新聞・雑誌で話題になったから	50.1% (48.1%)
3	ポスターやチラシを見たから	17.9% (17.7%)
4	身近に、骨髄移植者（または骨髄移植希望者）がいるから	11.5% (11.3%)
5	職場や学校での会話で話題になったから	8.1% ( 9.3%)
6	家庭での会話で話題になったから	6.5% ( 6.6%)
7	本を読んだから	5.7% ( 5.7%)
8	ビデオを見たから	2.9% ( 2.9%)
9	イベントに参加したから	1.0% ( 0.9%)
10	その他	4.0% ( 4.0%)
	(無回答)	1.3% ( 1.2%)

骨髄移植に関心を持ったきっかけについて、「テレビ・ラジオで話題になったから」(65.1%)が最も高く、次いで「新聞・雑誌で話題になったから」(50.1%)、「ポスターやチラシを見たから」(17.9%)、「身近に、骨髄移植者（または骨髄移植希望者）がいるから」(11.5%)などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「テレビ・ラジオで話題になったから」(64.8%)が最も高く、次いで「新聞・雑誌で話題になったから」(48.1%)、「ポスターやチラシを見たから」(17.7%)、「身近に、骨髄移植者（または骨髄移植希望者）がいるから」(11.3%)などとなっている。

図表 4-(2)-1 骨髄移植に関心を持ったきっかけについて

		回答数
全体	100.0	825 人
(1) テレビ・ラジオで話題になったから	65.1	537 人
(2) 新聞・雑誌で話題になったから	50.1	413 人
(3) ポスターやチラシを見たから	17.9	148 人
(4) 身近に、骨髄移植者(または骨髄移植希望者)がいるから	11.5	95 人
(5) 職場や学校での会話で話題になったから	8.1	67 人
(6) 家庭での会話で話題になったから	6.5	54 人
(7) 本を読んだから	5.7	47 人
(8) ビデオを見たから	2.9	24 人
(9) イベントに参加したから	1.0	8 人
(10) その他	4.0	33 人
無回答	1.3	11 人

グラフ単位:(%)



(3) 骨髄バンクについて

問14 あなたは、骨髄バンクのことを知っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

※ ( ) 内の割合はウェイトバックした値

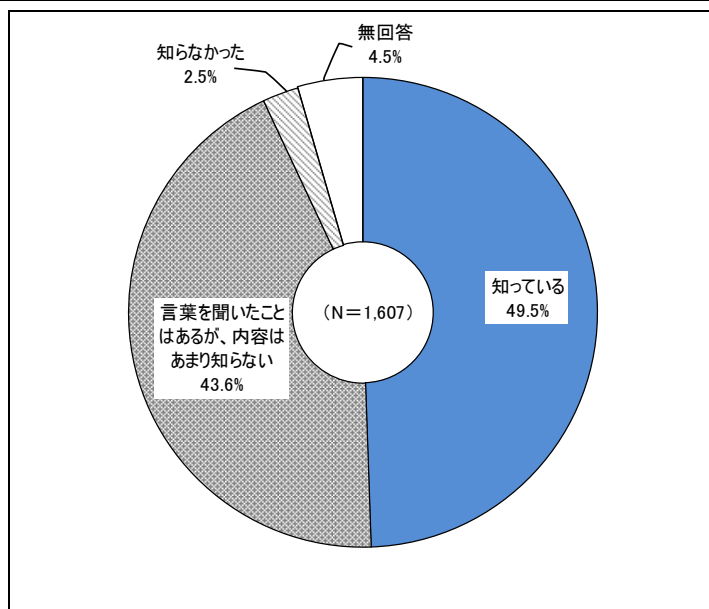
【回答者数=1,607】

1 知っている	49.5% (50.2%)
2 言葉を聞いたことはあるが、内容はあまり知らない	43.6% (42.8%)
3 知らなかった	2.5% ( 2.6%)
(無回答)	4.5% ( 4.4%)

骨髄バンクについて、「知っている」(49.5%)が最も高く、次いで「言葉を聞いたことはあるが、内容はあまり知らない」(43.6%)、「知らなかった」(2.5%)となっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「知っている」(50.2%)が最も高く、次いで「言葉を聞いたことはあるが、内容はあまり知らない」(42.8%)、「知らなかった」(2.6%)となっている。

図表 4-(3)-1 骨髄バンクについて



(4) 骨髄バンクを何で知ったかについて

【問14で「1」または「2」と答えた方にお聞きします】

付問24 あなたは、骨髄バンクを何で知りましたか。該当するものをすべて選んでください。

※ ( ) 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=1,495】※回答数の多い順に並び替え

1	テレビ	77.9% (77.5%)
2	新聞・雑誌	55.8% (52.6%)
3	献血会場 (血液センター、献血ルーム、献血バスなど)	16.1% (16.4%)
4	ラジオ	15.7% (15.7%)
5	学校・職場	9.2% (10.9%)
6	インターネット	8.0% ( 9.2%)
7	知人・友人	6.0% ( 5.8%)
8	ソーシャル・ネットワーキング・サービス (SNS)	1.5% ( 1.8%)
9	その他	1.2% ( 1.3%)
	(無回答)	1.7% ( 1.5%)

骨髄バンクを何で知ったかについて、「テレビ」(77.9%)が最も高く、次いで「新聞・雑誌」(55.8%)、「献血会場(血液センター、献血ルーム、献血バスなど)」(16.1%)、「ラジオ」(15.7%)などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「テレビ」(77.5%)が最も高く、次いで「新聞・雑誌」(52.6%)、「献血会場(血液センター、献血ルーム、献血バスなど)」(16.4%)、「ラジオ」(15.7%)などとなっている。

図表 4-(4)-1 骨髄バンクを何で知ったかについて

		回答数
全体	100.0	1,495 人
(1) テレビ	77.9	1,165 人
(2) 新聞・雑誌	55.8	834 人
(3) 献血会場(血液センター、献血ルーム、献血バスなど)	16.1	240 人
(4) ラジオ	15.7	235 人
(5) 学校・職場	9.2	138 人
(6) インターネット	8.0	119 人
(7) 知人・友人	6.0	90 人
(8) ソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)	1.5	22 人
(9) その他	1.2	18 人
無回答	1.7	25 人

グラフ単位：(%)

(5) ドナー登録をしているかについて

問15 あなたは、ドナー登録をしていますか。次の中から1つだけ選んでください。

※ ( ) 内の割合はウェイトバックした値

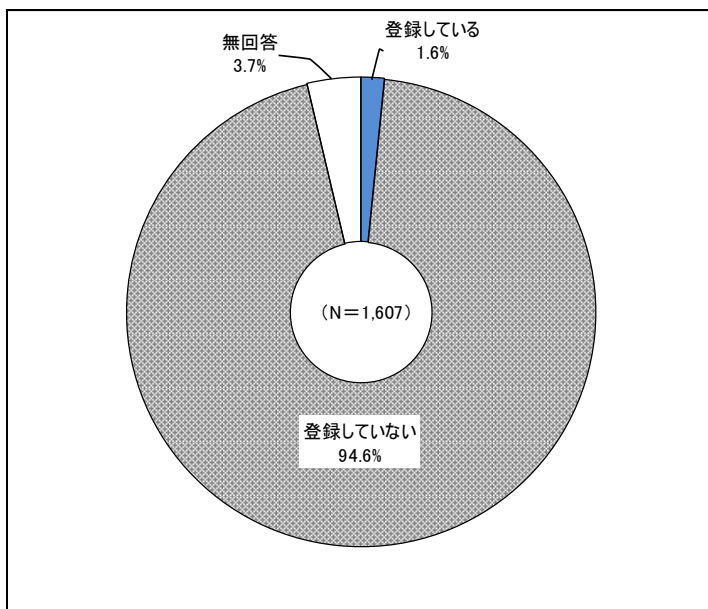
【回答者数=1,607】

1 登録している	1.6% ( 1.9%)
2 登録していない	94.6% (94.6%)
(無回答)	3.7% ( 3.5%)

ドナー登録をしているかについて、「登録している」(1.6%)、「登録していない」(94.6%)となっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「登録している」(1.9%)、「登録していない」(94.6%)となっている。

図表 4-(5)-1 ドナー登録をしているかについて



(6) 骨髄バンクに登録したきっかけについて

【問15で「1」と答えた方にお聞きします】

付問25 あなたが、骨髄バンクに登録したきっかけは何ですか。最も近いものを1つだけ選んでください。

※ ( ) 内の割合はウェイトバックした値

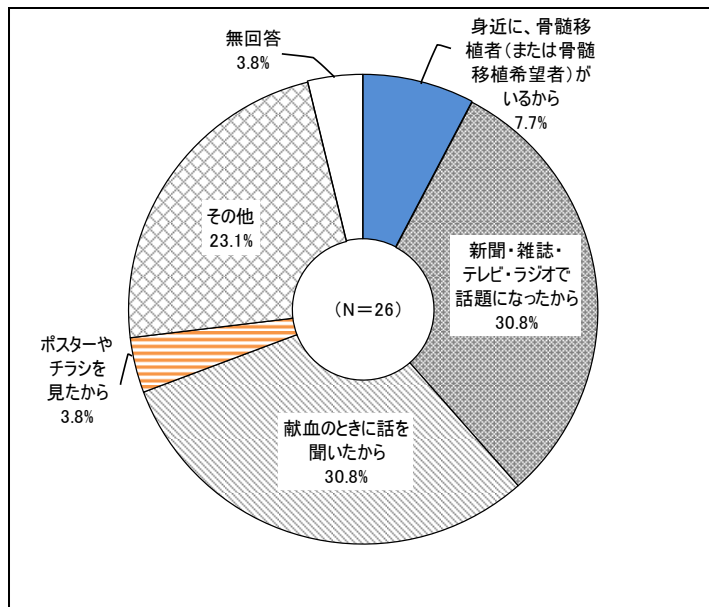
【回答者数=26(31)】

1	身近に、骨髄移植者（または骨髄移植希望者）がいるから	7.7% (10.0%)
2	新聞・雑誌・テレビ・ラジオで話題になったから	30.8% (31.0%)
3	献血のときに話を聞いたから	30.8% (31.2%)
4	ポスターやチラシを見たから	3.8% ( 3.6%)
5	その他	23.1% (20.9%)
	(無回答)	3.8% ( 3.3%)

骨髄バンクに登録したきっかけについて、「新聞・雑誌・テレビ・ラジオで話題になったから」、「献血のときに話を聞いたから」（ともに30.8%）が最も高く、次いで「その他」（23.1%）、「身近に、骨髄移植者（または骨髄移植希望者）がいるから」（7.7%）などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「献血のときに話を聞いたから」（31.2%）が最も高く、次いで「新聞・雑誌・テレビ・ラジオで話題になったから」（31.0%）、「その他」（20.9%）、「身近に、骨髄移植者（または骨髄移植希望者）がいるから」（10.0%）などとなっている。

図表 4-(6)-1 骨髄バンクに登録したきっかけについて



(7) 骨髄バンクに登録していない理由について

【問15で「2」と答えた方にお聞きします】

付問26 あなたが骨髄バンクに登録していない理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

※ ( ) 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=1,521(1,520)】※回答数の多い順に並び替え

1	骨髄をとることに不安があるから	39.6% (40.4%)
2	骨髄バンクの制度をよく知らないから	35.9% (37.1%)
3	年齢、健康上の理由により登録の条件に該当せず登録できないから	31.8% (28.6%)
4	骨髄移植についてよく知らないから	22.1% (22.9%)
5	登録できる場所がわからない、行きづらいから	20.1% (22.0%)
6	登録の手続きが面倒、時間がかかるから	9.9% (10.6%)
7	興味・関心がないから	8.5% ( 9.0%)
8	家族などの賛成が得られないから (家族などに心配されるから)	6.2% ( 6.9%)
9	特になし	5.9% ( 5.9%)
10	その他	1.6% ( 1.7%)
	(無回答)	2.0% ( 1.8%)

骨髄バンクに登録していない理由について、「骨髄をとることに不安があるから」(39.6%)が最も高く、次いで「骨髄バンクの制度をよく知らないから」(35.9%)、「年齢、健康上の理由により登録の条件に該当せず登録できないから」(31.8%)、「骨髄移植についてよく知らないから」(22.1%)などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「骨髄をとることに不安があるから」(40.4%)が最も高く、次いで「骨髄バンクの制度をよく知らないから」(37.1%)、「年齢、健康上の理由により登録の条件に該当せず登録できないから」(28.6%)、「骨髄移植についてよく知らないから」(22.9%)などとなっている。

図表 4-(7)-1 骨髄バンクに登録していない理由について

		回答数
全体	100.0	1,521 人
(1) 骨髄をとることに不安があるから	39.6	603 人
(2) 骨髄バンクの制度をよく知らないから	35.9	546 人
(3) 年齢、健康上の理由により登録の条件に該当せず登録できないから	31.8	483 人
(4) 骨髄移植についてよく知らないから	22.1	336 人
(5) 登録できる場所がわからない、行きづらいから	20.1	306 人
(6) 登録の手続きが面倒、時間がかかるから	9.9	151 人
(7) 興味・関心がないから	8.5	129 人
(8) 家族などの賛成が得られないから(家族などに心配されるから)	6.2	95 人
(9) 特にない	5.9	89 人
(10) その他	1.6	24 人
無回答	2.0	30 人

グラフ単位：(%)

**(8) 骨髄移植について、十分な情報が得られていると思うかについて**

問16 あなたは、骨髄移植について、十分な情報が得られていると思いますか。最も近いものを1つだけ選んでください。

※ ( ) 内の割合はウェイトバックした値

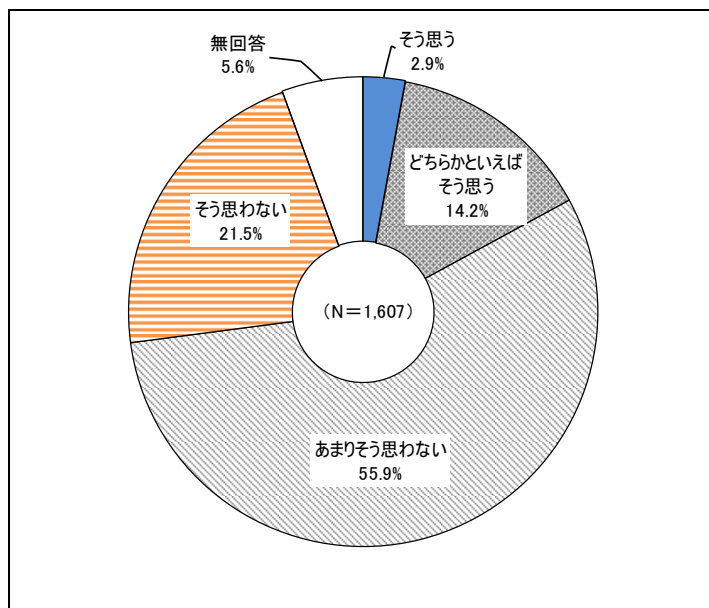
【回答者数=1,607】

1	そう思う	2.9% ( 2.9%)
2	どちらかといえばそう思う	14.2% (13.9%)
3	あまりそう思わない	55.9% (55.6%)
4	そう思わない	21.5% (22.2%)
	(無回答)	5.6% ( 5.4%)

骨髄移植について、十分な情報が得られていると思うかについて、「あまりそう思わない」(55.9%)が最も高く、次いで「そう思わない」(21.5%)、「どちらかといえばそう思う」(14.2%)、「そう思う」(2.9%)となっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「あまりそう思わない」(55.6%)が最も高く、次いで「そう思わない」(22.2%)、「どちらかといえばそう思う」(13.9%)、「そう思う」(2.9%)となっている。

**図表 4-(8)-1 骨髄移植について、十分な情報が得られていると思うかについて**





(9) 骨髄移植について知っていることについて

問17 あなたが骨髄移植について知っていることをすべて選んでください。

※ ( ) 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=1,607】 ※回答数の多い順に並び替え

- |   |  |               |
|---|--|---------------|
| 1 | 骨髄の提供は任意にされたものでなければならないこと                      | 56.3% (56.9%) |
| 2 | ドナー登録後も、骨髄の提供を断ることができること                       | 16.9% (17.3%) |
| 3 | 骨髄の提供のための検査費用、入院費などは一切かからないこと                  | 15.6% (15.6%) |
| 4 | 骨髄バンクへのドナー登録は、献血にあわせてできること                     | 15.4% (15.2%) |
| 5 | 骨髄バンクへのドナー登録ができる場所は、献血ルーム、献血バス、<br>県保健所などであること | 12.7% (12.5%) |
| 6 | 骨髄の提供には、通常3泊4日の入院や健康診断などにより7日程度かかること           | 8.9% ( 8.8%)  |
|   | (無回答)  | 30.2% (29.6%) |

骨髄移植について知っていることについて、「骨髄の提供は任意にされたものでなければならないこと」(56.3%)が最も高く、次いで「ドナー登録後も、骨髄の提供を断ることができること」(16.9%)、「骨髄の提供のための検査費用、入院費などは一切かからないこと」(15.6%)、「骨髄バンクへのドナー登録は、献血にあわせてできること」(15.4%)などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「骨髄の提供は任意にされたものでなければならないこと」(56.9%)が最も高く、次いで「ドナー登録後も、骨髄の提供を断ることができること」(17.3%)、「骨髄の提供のための検査費用、入院費などは一切かからないこと」(15.6%)、「骨髄バンクへのドナー登録は、献血にあわせてできること」(15.2%)などとなっている。

図表 4-(9)-1 骨髄移植について知っていることについて

		回答数
全体	100.0	1,607 人
(1) 骨髄の提供は任意にされたものでなければならないこと	56.3	904 人
(2) ドナー登録後も、骨髄の提供を断ることができること	16.9	271 人
(3) 骨髄の提供のための検査費用、入院費などは一切かからないこと	15.6	251 人
(4) 骨髄バンクへのドナー登録は、献血にあわせてできること	15.4	247 人
(5) 骨髄バンクへのドナー登録ができる場所は、献血ルーム、献血バス、県保健所などであること	12.7	204 人
(6) 骨髄の提供には、通常3泊4日の入院や健康診断などにより7日程度かかること	8.9	143 人
無回答	30.2	486 人

グラフ単位：(%)

(10) 骨髄移植に関してどのような情報がほしいかについて

問18 あなたは、骨髄移植に関してどのような情報がほしいですか。あてはまるものをすべて選んでください。

※ ( ) 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=1,607】※回答数の多い順に並び替え

1	骨髄の提供による健康面への影響	49.1% (49.7%)
2	骨髄移植の安全性など移植医療の情報	48.8% (48.6%)
3	骨髄移植とは何か	33.5% (33.8%)
4	骨髄移植の実施状況	28.1% (29.0%)
5	骨髄バンクへの登録方法	24.0% (25.6%)
6	骨髄移植に要する費用などの情報	23.2% (24.4%)
7	移植患者の選ばれ方など骨髄移植の流れ	22.4% (23.6%)
8	骨髄移植の体験についての情報	21.2% (21.8%)
9	政府などが行っている骨髄移植に対する支援などの情報	16.0% (16.0%)
10	骨髄の提供、移植ができる施設の情報	15.3% (16.1%)
11	骨髄移植についての相談窓口の情報	10.1% (10.2%)
12	骨髄移植のあっせん機関、学会やボランティア団体などの関係団体の情報	5.5% ( 5.6%)
13	特にない	11.1% (11.3%)
14	その他	0.3% ( 0.4%)
15	わからない	5.0% ( 4.8%)
	(無回答)	6.2% ( 5.8%)

骨髄移植に関してどのような情報がほしいかについて、「骨髄の提供による健康面への影響」(49.1%)が最も高く、次いで「骨髄移植の安全性など移植医療の情報」(48.8%)、「骨髄移植とは何か」(33.5%)、「骨髄移植の実施状況」(28.1%)などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「骨髄の提供による健康面への影響」(49.7%)が最も高く、次いで「骨髄移植の安全性など移植医療の情報」(48.6%)、「骨髄移植とは何か」(33.8%)、「骨髄移植の実施状況」(29.0%)などとなっている。

図表 4-(10)-1 骨髄移植に関してどのような情報がほしいかについて

		回答数
全体	100.0	1,607 人
(1) 骨髄の提供による健康面への影響	49.1	789 人
(2) 骨髄移植の安全性など移植医療の情報	48.8	784 人
(3) 骨髄移植とは何か	33.5	538 人
(4) 骨髄移植の実施状況	28.1	452 人
(5) 骨髄バンクへの登録方法	24.0	386 人
(6) 骨髄移植に要する費用などの情報	23.2	373 人
(7) 移植患者の選ばれ方など骨髄移植の流れ	22.4	360 人
(8) 骨髄移植の体験についての情報	21.2	341 人
(9) 政府などが行っている骨髄移植に対する支援などの情報	16.0	257 人
(10) 骨髄の提供、移植ができる施設の情報	15.3	246 人
(11) 骨髄移植についての相談窓口の情報	10.1	162 人
(12) 骨髄移植のあっせん機関、学会やボランティア団体などの関係団体の情報	5.5	89 人
(13) 特にない	11.1	179 人
(14) その他	0.3	5 人
(15) わからない	5.0	81 人
無回答	6.2	100 人

グラフ単位：(%)

(11) 骨髄移植を推進するため、県が行うべき対策について

問19 県内の市町では、骨髄を提供する場合、骨髄提供者や提供者が勤務する事業所に助成金を支給しているところがあり、県では、平成30年度から、その費用のおよそ2分の1を助成したり、ドナー休暇制度の普及促進を図るなど、提供を希望する方が提供しやすい環境の整備に努めています。あなたは、骨髄移植を推進するため、県が行うべき対策は何だと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

※ ( ) 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=1,607】 ※回答数の多い順に並び替え

1 骨髄提供者への支援（精神的支援、金銭的支援など）	50.5% (51.4%)
2 骨髄移植に関する教育の推進	43.2% (43.6%)
3 骨髄移植の普及啓発活動の推進（メディア広報、リーフレット配布、講演会など）	39.8% (39.1%)
4 骨髄バンクにドナー登録できる場所・時間の拡充	24.3% (24.6%)
5 骨髄提供者が従事している事業所への支援（表彰、金銭的支援など）	20.7% (21.4%)
6 特にない	6.7% ( 6.7%)
7 その他	1.1% ( 1.2%)
8 わからない	8.8% ( 8.5%)
(無回答)	7.3% ( 6.9%)

骨髄移植を推進するため、県が行うべき対策について、「骨髄提供者への支援（精神的支援、金銭的支援など）」(50.5%)が最も高く、次いで「骨髄移植に関する教育の推進」(43.2%)、「骨髄移植の普及啓発活動の推進（メディア広報、リーフレット配布、講演会など）」(39.8%)、「骨髄バンクにドナー登録できる場所・時間の拡充」(24.3%)などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「骨髄提供者への支援（精神的支援、金銭的支援など）」(51.4%)が最も高く、次いで「骨髄移植に関する教育の推進」(43.6%)、「骨髄移植の普及啓発活動の推進（メディア広報、リーフレット配布、講演会など）」(39.1%)、「骨髄バンクにドナー登録できる場所・時間の拡充」(24.6%)などとなっている。

図表 4-(11)-1 骨髄移植を推進するため、県が行うべき対策について

		回答数
全体	100.0	1,607 人
(1) 骨髄提供者への支援(精神的支援、金銭的支援など)	50.5	811 人
(2) 骨髄移植に関する教育の推進	43.2	695 人
(3) 骨髄移植の普及啓発活動の推進(メディア広報、リーフレット配布、講演会など)	39.8	640 人
(4) 骨髄バンクにドナー登録できる場所・時間の拡充	24.3	390 人
(5) 骨髄提供者が従事している事業所への支援(表彰、金銭的支援など)	20.7	333 人
(6) 特にない	6.7	108 人
(7) その他	1.1	17 人
(8) わからない	8.8	142 人
無回答	7.3	117 人

グラフ単位:(%)

## 5. 県政の重要度と満足度について

県では、平成28年度からの新たな香川づくりの指針として、「新・せとうち田園都市創造計画」※を策定し、「成長する香川」、「信頼・安心の香川」、「笑顔で暮らせる香川」の3つの基本方針のもと、さまざまな施策に取り組んでいます。

この計画を着実に推進し、県民の皆さまのニーズ(要望)に対応した県政を進めるためには、皆さまが「県行政に対して何を求めているのか」、「現在の状況にどのくらい満足しているのか」を知り、それを県政に反映させていくことが重要となります。

そこで、この計画で展開することとしている24の分野を対象に、皆さまが考える重要度と満足度についてお伺いしますので、以下の質問にお答えください。

「重要度」については、今の生活やこれからの生活を送っていくうえでどのくらい重要かを、また、「満足度」については、現状にどのくらい満足しているかを、それぞれ5段階で評価してください。

### ※「新・せとうち田園都市創造計画」

本県の進むべき基本的方向とそれを実現するための方策を明らかにした県政運営の基本指針で、計画期間は平成28年度から平成32年度の5年間です。

この計画では、「せとうち田園都市の新たな創造」を基本目標に掲げ、「成長する香川」、「信頼・安心の香川」、「笑顔で暮らせる香川」の3つの基本方針のもと、人口減少の克服や地域活力の向上につながる効果的な施策に重点的に取り組み、人口の社会増を伴う、魅力ある瀬戸内香川の生活圏域づくりをめざしています。

(1)成長する香川（重要度）

問20 「新・せとうち田園都市創造計画」の基本方針「成長する香川」についておたずねします。  
「成長する香川」の実現に向けて展開している1～7の分野について、あなたの＜重要度＞を、  
それぞれ1～5のうちあてはまる番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

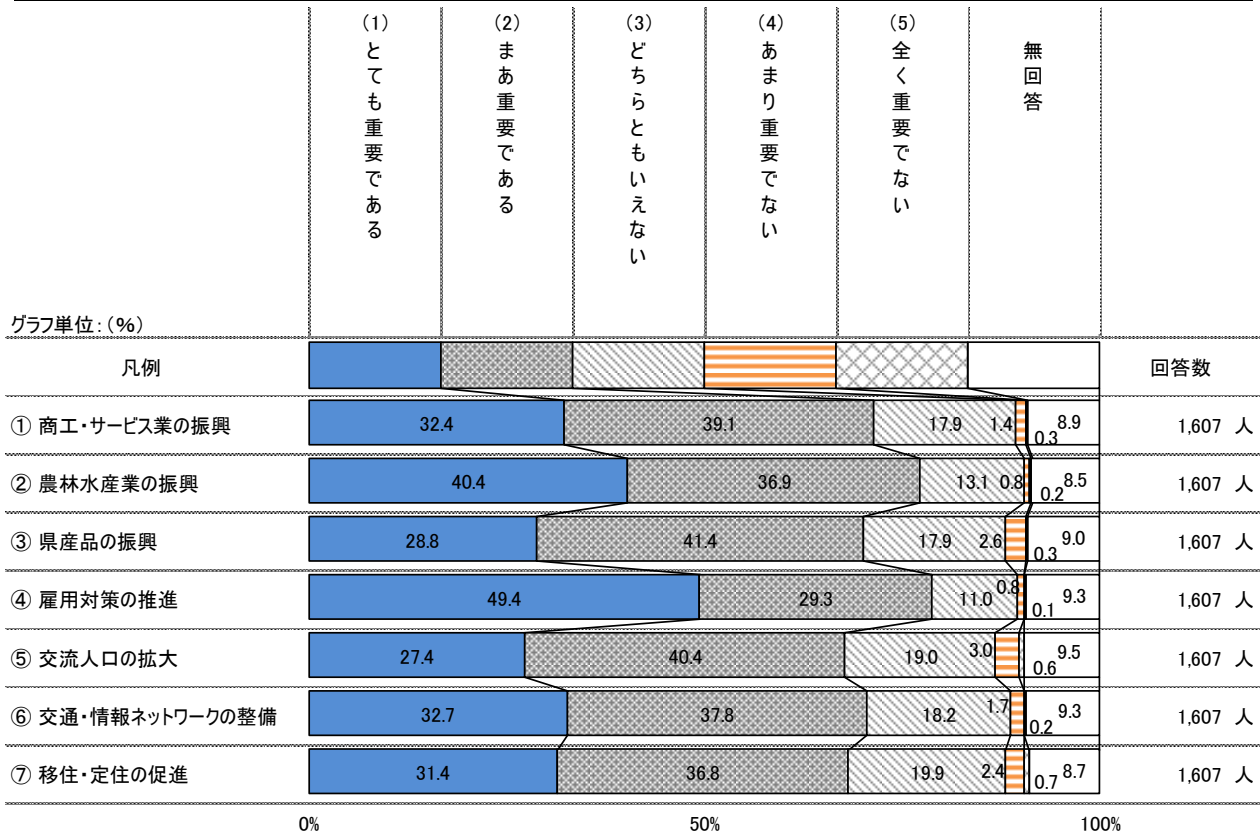
【回答者数=1,607】

分 野	重要度					無回答
	①とても重要である	②まあ重要である	③どちらともいえない	④あまり重要でない	⑤全く重要でない	
1 商工・サービス業の振興	32.4 (32.3)	39.1 (39.0)	17.9 (18.3)	1.4 (1.6)	0.3 (0.3)	8.9 (8.5)
2 農林水産業の振興	40.4 (39.7)	36.9 (37.5)	13.1 (13.6)	0.8 (0.8)	0.2 (0.3)	8.5 (8.2)
3 県産品の振興	28.8 (28.3)	41.4 (41.2)	17.9 (18.4)	2.6 (2.9)	0.3 (0.3)	9.0 (8.8)
4 雇用対策の推進	49.4 (50.8)	29.3 (28.0)	11.0 (11.3)	0.8 (1.0)	0.1 (0.1)	9.3 (8.9)
5 交流人口の拡大	27.4 (27.3)	40.4 (40.2)	19.0 (19.3)	3.0 (3.3)	0.6 (0.7)	9.5 (9.2)
6 交通・情報ネットワークの整備	32.7 (32.8)	37.8 (37.9)	18.2 (18.1)	1.7 (2.0)	0.2 (0.3)	9.3 (9.0)
7 移住・定住の促進	31.4 (31.6)	36.8 (36.3)	19.9 (20.0)	2.4 (2.9)	0.7 (0.8)	8.7 (8.4)

「成長する香川」については、「とても重要である」と「まあ重要である」を合わせた【重要である】の割合は、すべての分野において6割を超えており、「雇用対策の推進」（78.7%）が最も高く、次いで「農林水産業の振興」（77.3%）となっている。

ウェイトバック集計した値をみると、【重要である】の割合は、すべての分野において6割を超えており、「雇用対策の推進」（78.8%）が最も高く、次いで「農林水産業の振興」（77.2%）となっている。

図表 5-(1) 成長する香川（重要度）





(2)成長する香川（満足度）

問20 「新・せとうち田園都市創造計画」の基本方針「成長する香川」についておたずねします。  
 「成長する香川」の実現に向けて展開している1～7の分野について、あなたの＜満足度＞を、  
 それぞれ1～5のうちあてはまる番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

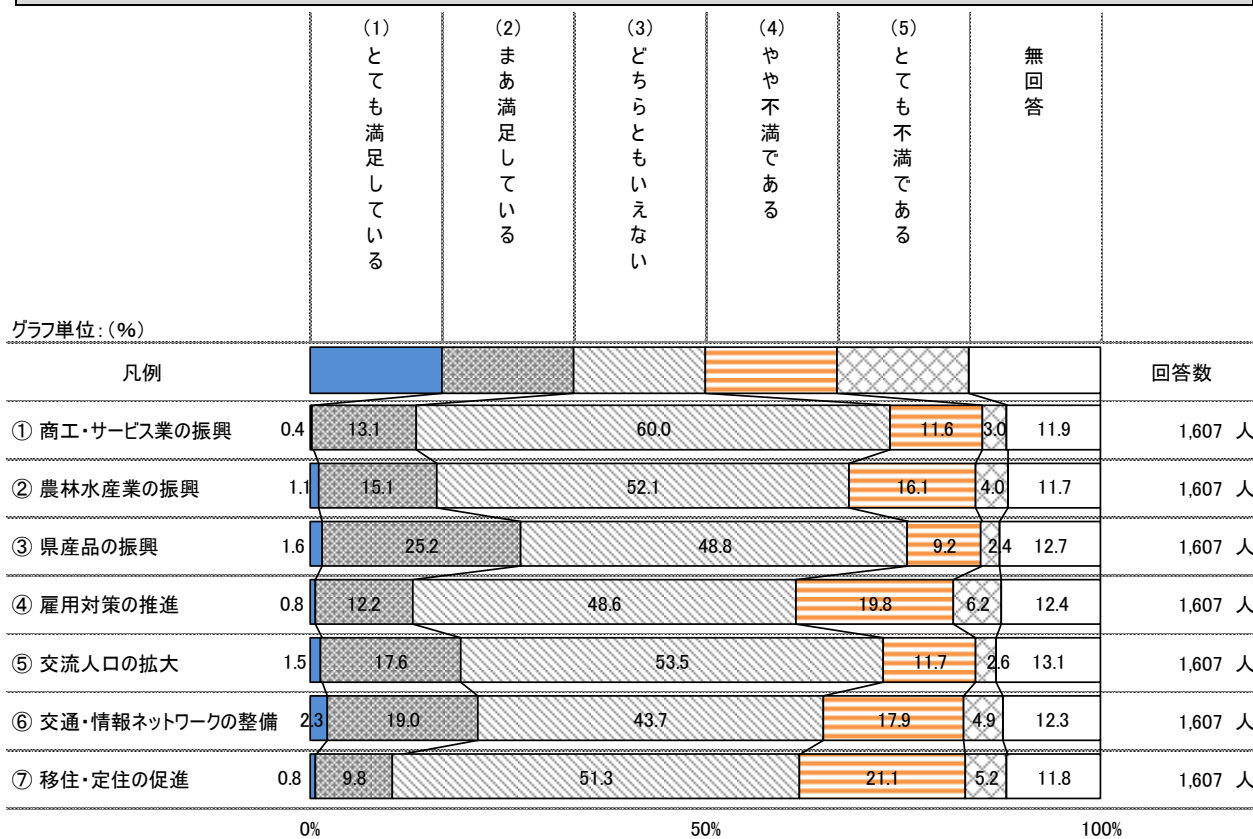
【回答者数=1,607】

分 野	満足度					
	①とても満足している	②まあ満足している	③どちらともいえない	④やや不満である	⑤とても不満である	無回答
1 商工・サービス業の振興	0.4 (0.4)	13.1 (13.0)	60.0 (60.1)	11.6 (11.8)	3.0 (3.0)	11.9 (11.6)
2 農林水産業の振興	1.1 (1.1)	15.1 (15.2)	52.1 (53.1)	16.1 (15.4)	4.0 (3.7)	11.7 (11.4)
3 県産品の振興	1.6 (2.0)	25.2 (25.8)	48.8 (48.2)	9.2 (9.1)	2.4 (2.3)	12.7 (12.5)
4 雇用対策の推進	0.8 (0.9)	12.2 (12.2)	48.6 (48.2)	19.8 (20.3)	6.2 (6.5)	12.4 (11.9)
5 交流人口の拡大	1.5 (1.7)	17.6 (18.0)	53.5 (53.0)	11.7 (12.0)	2.6 (2.6)	13.1 (12.8)
6 交通・情報ネットワークの整備	2.3 (2.4)	19.0 (19.6)	43.7 (43.0)	17.9 (18.5)	4.9 (4.6)	12.3 (11.9)
7 移住・定住の促進	0.8 (0.9)	9.8 (9.7)	51.3 (51.0)	21.1 (21.9)	5.2 (5.1)	11.8 (11.4)

「成長する香川」については、「県産品の振興」と「交流人口の拡大」において、「とても満足している」と「まあ満足している」を合わせた【満足している】の割合が、「やや不満である」と「とても不満である」を合わせた【不満である】の割合を上回っており、その他の分野においては【不満である】の割合が【満足している】の割合を上回っている。

ウェイトバック集計した値においても、同じ結果となっている。

図表 5-(2) 成長する香川（満足度）



(3)信頼・安心の香川（重要度）

問21 「新・せとうち田園都市創造計画」の基本方針「信頼・安心の香川」についておたずねします。「信頼・安心の香川」の実現に向けて展開している8～15の分野について、あなたの＜重要度＞を、それぞれ1～5のうちあてはまる番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

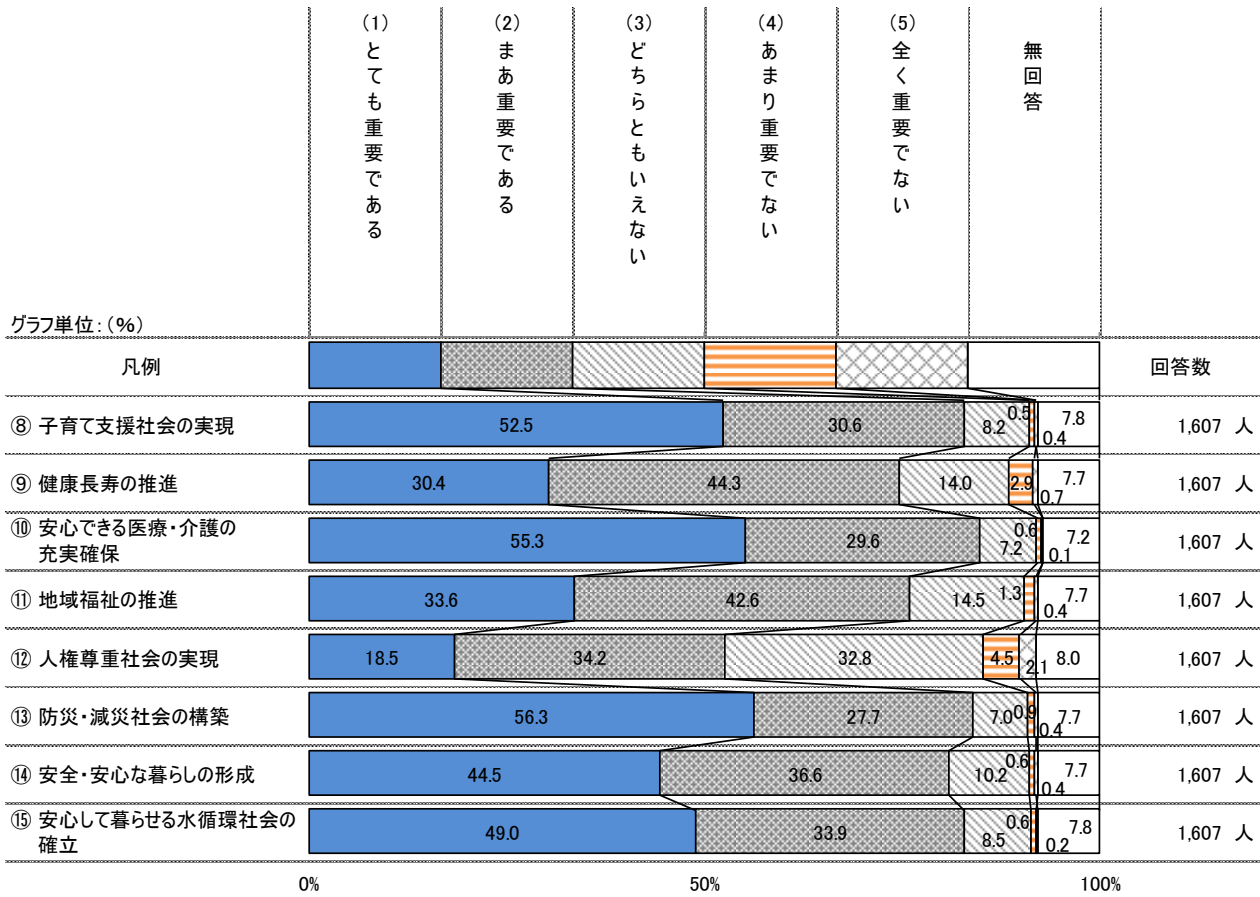
【回答者数=1,607】

分 野	重要度					
	①とても重要である	②まあ重要である	③どちらともいえない	④あまり重要でない	⑤全く重要でない	無回答
8 子育て支援社会の実現	52.5 (53.3)	30.6 (29.5)	8.2 (8.7)	0.5 (0.6)	0.4 (0.4)	7.8 (7.5)
9 健康長寿の推進	30.4 (30.1)	44.3 (43.4)	14.0 (15.2)	2.9 (3.3)	0.7 (0.7)	7.7 (7.3)
10 安心できる医療・介護の充実確保	55.3 (55.5)	29.6 (29.0)	7.2 (7.7)	0.6 (0.7)	0.1 (0.1)	7.2 (7.0)
11 地域福祉の推進	33.6 (33.6)	42.6 (42.0)	14.5 (15.2)	1.3 (1.5)	0.4 (0.3)	7.7 (7.4)
12 人権尊重社会の実現	18.5 (18.7)	34.2 (33.4)	32.8 (33.2)	4.5 (5.0)	2.1 (2.1)	8.0 (7.7)
13 防災・減災社会の構築	56.3 (57.4)	27.7 (26.7)	7.0 (7.2)	0.9 (0.9)	0.4 (0.4)	7.7 (7.3)
14 安全・安心な暮らしの形成	44.5 (45.5)	36.6 (35.6)	10.2 (10.4)	0.6 (0.7)	0.4 (0.4)	7.7 (7.4)
15 安心して暮らせる水循環社会の確立	49.0 (49.9)	33.9 (32.8)	8.5 (8.9)	0.6 (0.8)	0.2 (0.2)	7.8 (7.5)

「信頼・安心の香川」については、「とても重要である」と「まあ重要である」を合わせた【重要である】の割合は、「安心できる医療・介護の充実確保」（84.9%）が最も高く、次いで「防災・減災社会の構築」（84.0%）となっている。

ウェイトバック集計した値をみると、【重要である】の割合は、「安心できる医療・介護の充実確保」（84.5%）が最も高く、次いで「防災・減災社会の構築」（84.1%）となっている。

図表 5-(3) 信頼・安心の香川（重要度）



(4)信頼・安心の香川（満足度）

問21 「新・せとうち田園都市創造計画」の基本方針「信頼・安心の香川」についておたずねします。「信頼・安心の香川」の実現に向けて展開している8～15の分野について、あなたの<満足度>を、それぞれ1～5のうちあてはまる番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

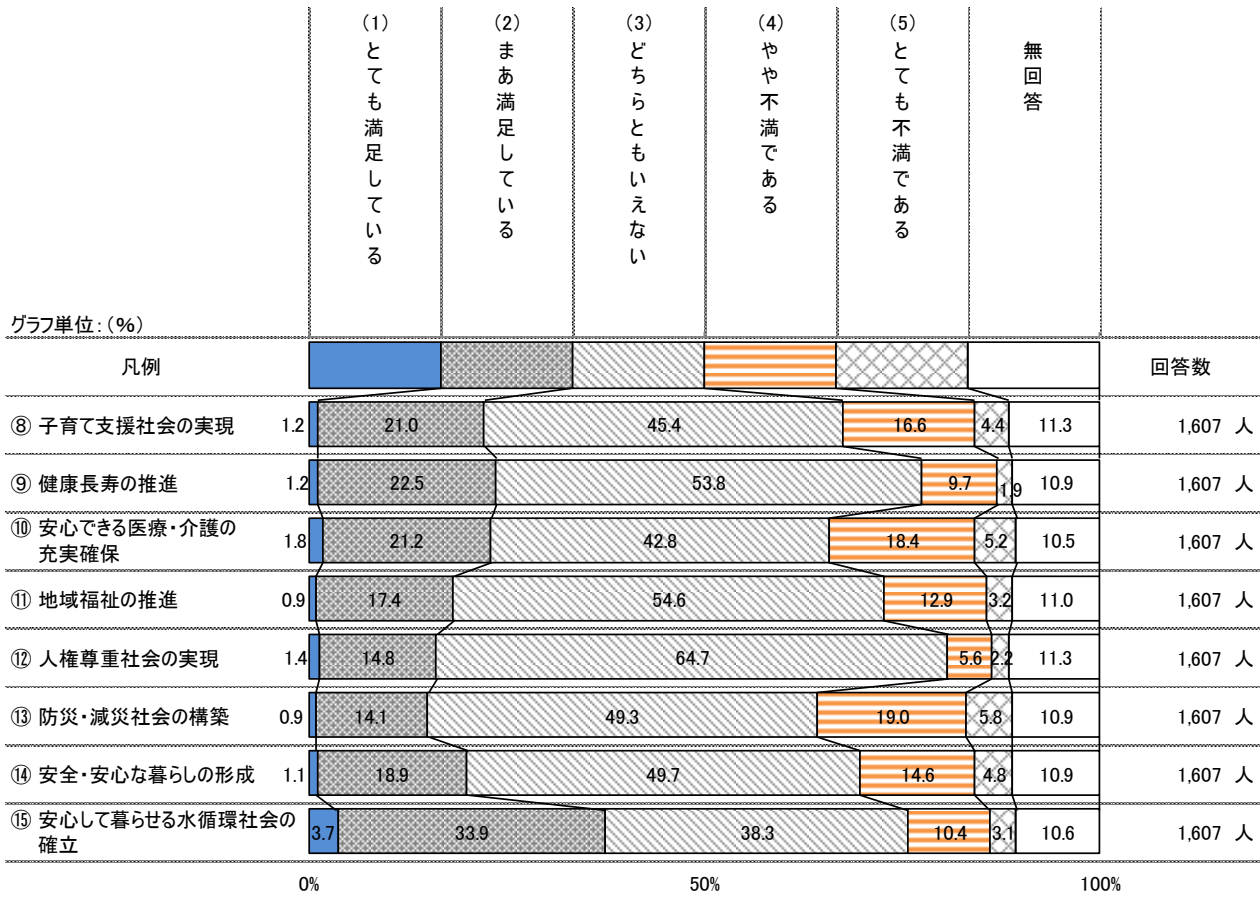
【回答者数=1,607】

分 野	満足度					
	①とても満足している	②まあ満足している	③どちらともいえない	④やや不満である	⑤とても不満である	無回答
8 子育て支援社会の実現	1.2 (1.3)	21.0 (20.8)	45.4 (45.3)	16.6 (16.9)	4.4 (4.6)	11.3 (11.0)
9 健康長寿の推進	1.2 (1.2)	22.5 (21.9)	53.8 (54.9)	9.7 (9.6)	1.9 (1.9)	10.9 (10.5)
10 安心できる医療・介護の充実確保	1.8 (1.9)	21.2 (21.5)	42.8 (42.7)	18.4 (18.3)	5.2 (5.3)	10.5 (10.3)
11 地域福祉の推進	0.9 (1.0)	17.4 (17.9)	54.6 (54.2)	12.9 (12.9)	3.2 (3.3)	11.0 (10.6)
12 人権尊重社会の実現	1.4 (1.6)	14.8 (15.1)	64.7 (64.5)	5.6 (5.6)	2.2 (2.3)	11.3 (11.0)
13 防災・減災社会の構築	0.9 (0.9)	14.1 (14.2)	49.3 (48.7)	19.0 (19.8)	5.8 (5.8)	10.9 (10.6)
14 安全・安心な暮らしの形成	1.1 (1.2)	18.9 (19.2)	49.7 (48.5)	14.6 (15.2)	4.8 (5.3)	10.9 (10.6)
15 安心して暮らせる水循環社会の確立	3.7 (4.1)	33.9 (33.2)	38.3 (38.5)	10.4 (10.7)	3.1 (3.2)	10.6 (10.3)

「信頼・安心の香川」については、「安心できる医療・介護の充実確保」、「防災・減災社会の構築」において、「やや不満である」と「とても不満である」を合わせた【不満である】の割合が、「とても満足している」と「まあ満足している」を合わせた【満足している】の割合を上回っており、その他の分野においては【満足している】の割合が【不満である】の割合を上回っている。

ウェイトバック集計した値については、「安心できる医療・介護の充実確保」、「防災・減災社会の構築」、「安心・安全な暮らしの形成」において、【不満である】の割合が【満足している】の割合を上回っており、その他の分野においては【満足している】の割合が【不満である】の割合を上回っている。

図表 5-(4) 信頼・安心の香川（満足度）



(5) 笑顔で暮らせる香川（重要度）

問22 「新・せとうち田園都市創造計画」の基本方針「笑顔で暮らせる香川」についておたずねします。「笑顔で暮らせる香川」の実現に向けて展開している16～24の分野について、あなたの＜重要度＞を、それぞれ1～5のうちあてはまる番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

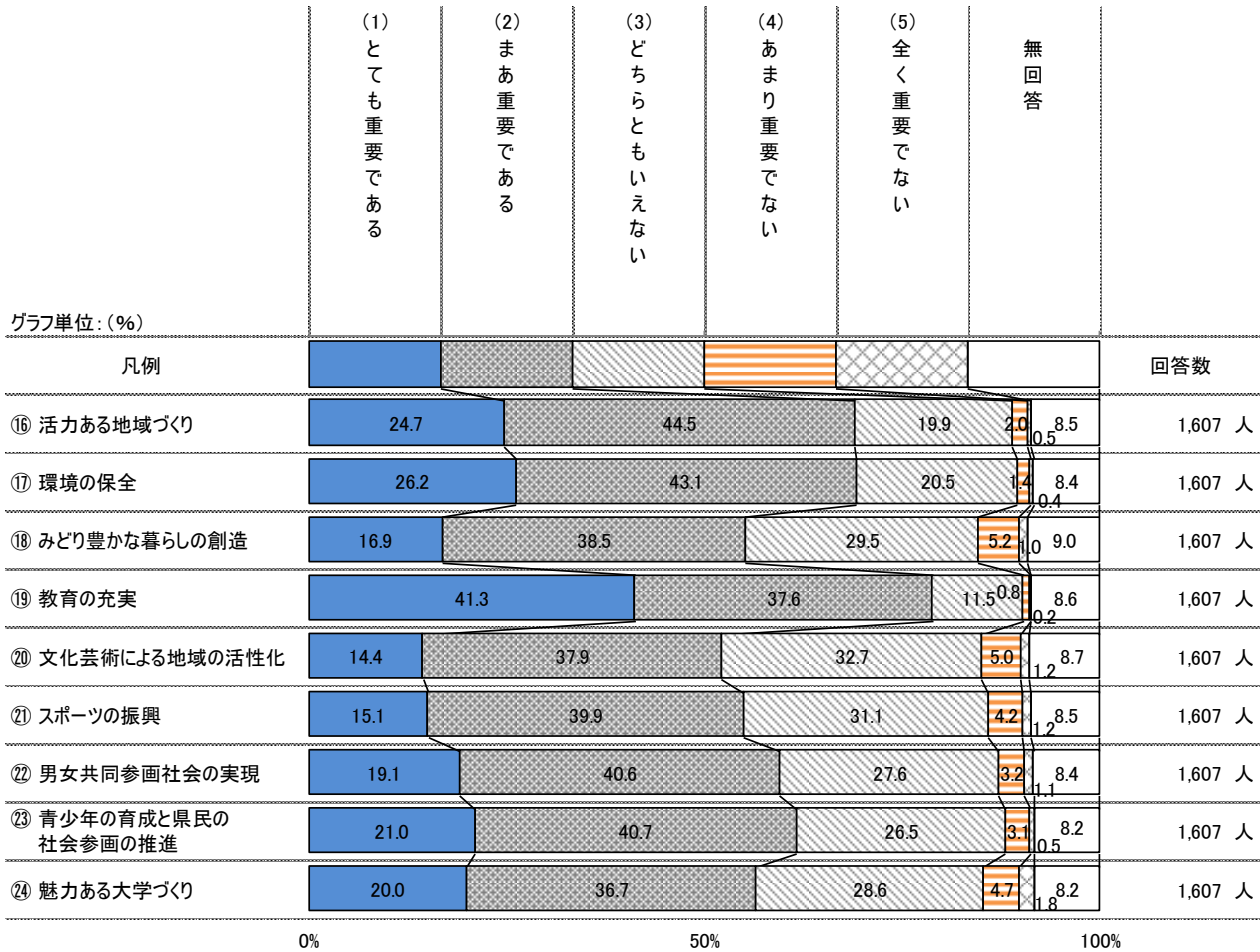
【回答者数=1,607】

分 野	重要度					
	①とても重要である	②まあ重要である	③どちらともいえない	④あまり重要でない	⑤全く重要でない	無回答
16 活力ある地域づくり	24.7 (24.2)	44.5 (44.3)	19.9 (20.6)	2.0 (2.2)	0.5 (0.6)	8.5 (8.1)
17 環境の保全	26.2 (26.3)	43.1 (42.8)	20.5 (20.9)	1.4 (1.5)	0.4 (0.4)	8.4 (8.1)
18 みどり豊かな暮らしの創造	16.9 (16.9)	38.5 (37.6)	29.5 (30.2)	5.2 (5.3)	1.0 (1.2)	9.0 (8.8)
19 教育の充実	41.3 (42.1)	37.6 (36.6)	11.5 (11.9)	0.8 (1.0)	0.2 (0.2)	8.6 (8.2)
20 文化芸術による地域の活性化	14.4 (14.6)	37.9 (37.0)	32.7 (33.0)	5.0 (5.8)	1.2 (1.3)	8.7 (8.3)
21 スポーツの振興	15.1 (15.6)	39.9 (39.0)	31.1 (31.2)	4.2 (4.8)	1.2 (1.4)	8.5 (8.1)
22 男女共同参画社会の実現	19.1 (20.0)	40.6 (39.9)	27.6 (27.5)	3.2 (3.4)	1.1 (1.2)	8.4 (8.1)
23 青少年の育成と県民の社会参画の推進	21.0 (20.9)	40.7 (39.9)	26.5 (27.4)	3.1 (3.3)	0.5 (0.6)	8.2 (7.9)
24 魅力ある大学づくり	20.0 (20.8)	36.7 (35.6)	28.6 (28.7)	4.7 (5.0)	1.8 (2.0)	8.2 (7.9)

「笑顔で暮らせる香川」については、「とても重要である」と「まあ重要である」を合わせた【重要である】の割合は、「教育の充実」（78.9%）が最も高く、次いで「環境の保全」（69.3%）、「活力ある地域づくり」（69.2%）となっている。

ウェイトバック集計した値をみると、【重要である】の割合は、「教育の充実」（78.7%）が最も高く、次いで「環境の保全」（69.1%）、「活力ある地域づくり」（68.5%）となっている。

図表 5-(5) 笑顔で暮らせる香川（重要度）





(6)笑顔で暮らせる香川（満足度）

問22 「新・せとうち田園都市創造計画」の基本方針「笑顔で暮らせる香川」についておたずねします。「笑顔で暮らせる香川」の実現に向けて展開している16～24の分野について、あなたの＜満足度＞を、それぞれ1～5のうちあてはまる番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

【回答者数=1,607】

分 野	満足度					
	①とても満足している	②まあ満足している	③どちらともいえない	④やや不満である	⑤とても不満である	無回答
16 活力ある地域づくり	1.1 (1.1)	12.8 (12.8)	59.1 (59.4)	12.6 (12.7)	2.9 (2.8)	11.6 (11.2)
17 環境の保全	1.0 (1.1)	17.4 (17.9)	57.3 (56.7)	10.6 (11.0)	2.2 (2.2)	11.4 (11.0)
18 みどり豊かな暮らしの創造	1.5 (1.6)	21.7 (21.7)	56.9 (56.9)	5.9 (5.8)	1.7 (1.7)	12.3 (12.1)
19 教育の充実	1.2 (1.4)	22.8 (22.7)	48.6 (48.4)	11.3 (11.8)	3.6 (3.7)	12.4 (12.0)
20 文化芸術による地域の活性化	2.4 (3.0)	20.8 (20.7)	57.6 (57.1)	5.2 (5.5)	1.9 (1.9)	12.2 (11.8)
21 スポーツの振興	1.1 (1.3)	16.7 (16.7)	60.0 (59.6)	8.2 (8.4)	2.2 (2.6)	11.8 (11.4)
22 男女共同参画社会の実現	1.1 (1.3)	11.6 (11.7)	62.6 (62.6)	10.0 (10.2)	2.7 (2.7)	12.0 (11.6)
23 青少年の育成と県民の社会参画の推進	1.1 (1.4)	13.6 (13.2)	63.7 (64.4)	8.2 (7.9)	1.8 (1.9)	11.6 (11.2)
24 魅力ある大学づくり	0.9 (1.1)	12.1 (11.9)	60.5 (59.9)	11.4 (12.2)	3.2 (3.5)	11.8 (11.5)

「笑顔で暮らせる香川」については、「活力ある地域づくり」、「魅力ある大学づくり」において、「やや不満である」と「とても不満である」を合わせた【不満である】の割合が、「とても満足している」と「まあ満足している」を合わせた【満足している】の割合を上回っており、「男女共同参画社会の実現」で同じ割合になったのを除き、その他の分野においては【満足している】の割合が【不満である】の割合を上回っている。

ウェイトバック集計した値については、「活力ある地域づくり」、「魅力ある大学づくり」において、【不満である】の割合が【満足している】の割合を上回っており、その他の分野においては【満足している】の割合が【不満である】の割合を上回っている。

図表 5-(6) 笑顔で暮らせる香川（満足度）

